

新病院公用車車庫新築工事設計図

ユウ建築事務所

一級建築士 高橋 祐一

工事名

新病院公用車庫新築工事

I. 工事概要

1 工事場所

岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野 地内

2 敷地面積

1041.29㎡

3 工事種目

新築

4 工事規模

鉄骨造平屋建

建築面積

195.96㎡

床面積

195.96㎡

5 工事内容

別途工事

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、全て建設大臣官庁官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書（成13年版）」（以下「共仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項

目

特記事項

1

適用基準等

・建築工事標準詳細図

建設大臣官庁官庁営繕部監修（平成 年版）

・敷地調査共通仕様書

建設大臣官庁官庁営繕部監修（平成 年版）

・

・

・

・

・適用する

(1.1.4)

2

工事実施情報の登録（工事カルテ）

1) 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）

(1.1.13)

・特別管理産業廃棄物（ ）

処理方法（ ）

・現場において再利用を図るもの（ ）

・再生資源化を図るもの

・コンクリート塊

・アスファルトコンクリート塊

・建設発生木材

受入施設名（始末票指定処理施設

受入場所（ ）

仮置場所（ ）

・その再生資源化を図るもの

受入施設名（ ）

受入場所（ ）

仮置場所（ ）

・自由処分

4

現場技術員等

・管理技術者又は主任技術者：建設業法第26条による有資格者を専任又は常駐させること。

(1.3.2)

・現場技術者員

：適正な技術員を専任又は常駐させること。

5

電気保安技術者

・適用する

(1.3.3)

6

技能士

技能検定の職種

作業の種別

鉄筋工事（鉄筋施工）

○全て

・

コンクリート工事（左官・型枠施工）

○全て

・

鉄骨工事（とび）

○全て

・

ブロック・ALC等木工事・PCカーテンウォール工事（ブロック建築・ALC等木工事・PCカーテンウォール工事）

○全て

・

防水工事（防水施工）

・全て

・

石工事（石材施工）

・全て

・

タイル工事（タイル張り）

・全て

・

木工事（建築大工）

・全て

・

屋根とい工事（屋根板金・ルーフト施工）

○全て

・

金属工事（内装仕上げ施工（鋼製下地））

○全て

・

左官工事（左官）

○全て

・

建具工事（サッシ施工・ガラス施工）

○全て

・

塗装工事（塗装）

○全て

・

内装工事（内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）・表装）

○全て

・

種裁工事（造園）

・全て

・

7

施工条件

・低公害車の利用、7t以下ダンプトラック、ゴミの分別

(1.3.5)

8

建築材料等

本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾をうける。

9

特別な材料の工法

共仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

10

提出図書

請負契約に定められている書類

(契約後)

・工事着手届

・工事工程表

・現場代理人、主任技術者等届

・火災保険加入契約書（写）

・申請書

(工事中)

・出来高検査票

(完成後)

・工事完成届

・工事完成引渡書（引渡図書目録添付）

共通、特記仕様書等に定められている書類

(契約後)

・製造所等承諾書

・工事総合施工計画書

・現場技術員届

(工事中)

・各種工事施工計画書

・各種工事施工図

・工事作業日報

・主要資材規格又は品質証明書

・各種試験成績報告書又は報告書

・主要資材搬入検査票

・技能士合格証明書

(完成後)

・完成図（修正設計図）

・責任施工保証書

・各種届出書等写

・官公署許可認可及び検査済書

・維持管理取扱書（設備機器説明含む）

11

施工図及び施工計画書

施工図等の提出について

(1.7.2)

(a) 共仕に定める施工図及び施工計画書として、次のものを提出する。

(1) 鉄筋配筋図（納まり図含む）

(2) コンクリート躯体図

(3) 鉄骨製作図

(4) カーテンウォール製作図

(5) カーテンウォール施工計画書

(b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官庁官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年）」に準ずるものとする。

(c) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建築における使用に限り、免注者に委譲するものとする。

(d) 提出部数は、施工図の原図及びその縮小複写図（1部）とする。ただし、製作図等では原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。

12

工事・完成写真

次のものを監督職員に提出する。

区分

分類

規定

撮影箇所数

部数

備考

着工前

※カラー

※サービス版

監督員の指示による

2部

工事施工状況

※カラー

※サービス版

による

2部

完成時

※カラー

・キャビネ版

（撮影計画をサービス版提出する）

2部

13

設備工事との取り扱い

施工範囲

・図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強

・図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強

・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ

・自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強

施工図

設備機器の位置、取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

14

経年検査

本工事完成一年後の経年検査

・なし

・あり

2

仮設

1. 監督職員事務所

(2.3.3)(表2.3.1)

・設ける規模

・1号・2号・3号・4号・5号

・設けない

2. 監督職員事務所の備品

(2.3.3)

備品の種類

机、椅子

書棚

黒板

板製図板

掛時計

数量

組

台

個

備品の種類

温度計

ゴム長靴

雨がっぱ

保護帽

懐中電灯

数量

個

足

着

個

備品の種類

掃除用具

衣類ロッカー

冷暖房機器

消火器

湯沸器

数量

個

人用

台

個

備品の種類

加入電話の付属電話機

テレビ

応接セット

打合せ机

数量

台

台

組

組

3

工事用水

構内既存の施設

・利用できる（・有償・無償）

・利用できない

4

工事用電力

構内既存の施設

・利用できる（・有償・無償）

・利用できない

5

足場等

設置する場所、機種の類は、別契約の関係請負者に無償で使用する。

(2.2.4)

3

土工事

1. 埋戻し及び盛土

(2.2.2)

種別

・A種（建物内部・外部）

・B種（建物内部）

・C種

・D種

(3.2.3)(表3.2.1)

C種の場合（建設発生土受入量（ ）㎡発生場所

※構外搬出適切な処理

・構内指定場所に敷き均し

・構内指定場所にたい積

・構外指定場所に処分（搬出調書等を提出する）

受入施設名（ ）

受入場所（ ）

仮置場所（ ）

2. 建設発生土の処理

(3.2.5)

・構外搬出適切な処理

・構内指定場所に敷き均し

・構内指定場所にたい積

・構外指定場所に処分（搬出調書等を提出する）

受入施設名（ ）

受入場所（ ）

仮置場所（ ）

3. 建設発生土の処理

低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき指定された建設機械を使用する。

4

地業工事

1. 既製コンクリート杭地業の材料

(4.2.2)(表4.2.1)

種類

規格名称等

区分等

・PC杭（連心力鉄筋コンクリート杭）

・JIS A 5310

※1種

・2種A

・2種

・PHC杭（高強度プレストレストコンクリート杭）

・JIS A 5337

（プレテンション連心力高強度プレストレストコンクリート杭）

・A種

・B種

・C種

・SC杭（外鉄鋼管付きコグリート杭）

・（財）日本建築むの評定又は評価基準

・（社）コグリート（鉄骨技術協会の評価基準

・PRC杭（鉄筋又は平鋼を入れた杭）

・（財）日本建築むの評定又は評価基準

・I種・II種

・III種

・ST杭（強度断面を有する連心力高強度プレストレストコンクリート杭）

・（財）日本建築むの評定又は評価基準

・（社）コグリート（鉄骨技術協会の評価基準

寸法及び継手

(4.2.2)(4.2.6)

種類

規格

区分

断面寸法

長さ

継手箇所数

継手工法

・評価品

B種

600φ、500φ

12m、14m

※アーク溶接

・JIS規格品

450φ、350φ

・

先端形状

300φ

(4.2.2)

・開放形

・閉そく平たん形

・

2. 既製コンクリート杭地業の工法

(4.2.1)(4.2.3)(4.2.4)(4.2.5)

工法

工法の分類

許容支持力を定める方法

・打込み工法

・打撃（直打）工法

昭和46年1月29日付建設第111号

・ブレイク併用打撃工法

・中掘打撃工法

・セメントミルク工法

・ブレイク根固め工法

昭和46年1月29日付建設第111号

・認定埋込み工法

・ブレイク拡大根固め工法

建築基準法第38条の規定に基づく建設大臣の認定を受けたもの

・回転根固め工法

・ブレイク最終打撃工法

上記の昭和46年1月29日付建設第111号「地盤の許容応力度及び基礎ぐいの許容応力度を求めるための地盤調査の方法並びにその結果に基づき地盤の許容応力度及び基礎ぐいの許容支持力を定める方法」は、昭和53年12月20日付建設第1623号により改正されているものである。

3

打込み工法

設計支持力

62t、48t、35t

(4.2.3)

ブレイキングの損割（ブレイキング併用打撃工法の場合）

(4.2.3)

ブレイキングの深さ

・本杭-2.0mの長さ

ブレイキングの径

・本杭-50mm程度の径

(4.2.3)

杭打機

ハンマーの種類

※油圧バイルハンマー「建築技術評価基準に基づく技術評価を受けた杭打機」又は、低騒音型油圧バイルハンマー-施工研究報告書に記載されたもの。

・ディーゼルハンマー

バイルドライバーの指定

・

騒音、振動の測定

・行う

※行わない

4

地盤の載荷試験

地盤の載荷試験の種類

・

(4.6.3)

※平板載荷試験

試験箇所及び試験位置

(4.6.3)

試験位置

※図示

・

試験孔

※不要

・深さGL- m

cm

・

試験深さ（m）

※地業底面位置

・試験孔底

・設計GLより

m

・

試験対象土質

※支持層

・

平板載荷試験の方法

(4.6.3)

試験の方法

※「敷地調査共通仕様書」4章9節による

・

最大荷重(t)

荷重制御

※1サイクル法

・多サイクル法

・

5

砂及び砂利地業

砂及び砂利地業の材料

(4.5.4)

地業

材料

適用事項

砂利地業

※再生クラッシャー

・切込み砂利又は切込み砕石

・

砂地業

※川砂又は砕砂

・

・

6

床下防湿層

防湿層の材料及び施工範囲

(4.5.6)

材料

施工箇所

※ポリエチレンフィルム

※図示

厚さ0.15mm

・建物内土間床版及び土間コンクリート下地

重ね幅、縦横共250mm以上

（ピットを除く）

・

5

鉄筋工事

1. 鉄筋の種類

(5.2.1)(表5.2.1)

規格

種類

計(mm)

※JIS G 3112

S D295 A

D 10 D 13 D 16 D 22

鉄筋コンクリート用棒鋼

S D345 A

D 25

・

・

2

溶接金網

網目の形状寸法及び鉄線の径

(5.2.2)

規格

網目の形状寸法

鉄線の径

※JIS G 3551

・

・

3

鉄筋の継手

鉄筋の種類に応じた継手工法

(5.3.1)(表5.3.1)

部位

接合方法

計(mm)

※柱・梁の主筋

※ガス圧接

・重ね継手

・

・特殊な鉄筋継手S A級

※その他

※重ね継手

・特殊な鉄筋継手S A級

4

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鋼合う継手の位置

(5.3.1)(表5.3.5)

※表5.3.5

・先組み工法等で同一箇所に出せる場合：

特殊な鉄筋継手の場合の鉄筋相互のあき

・5.3.2(d)

(5.3.2)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

(5.3.2)(表5.3.6)

※表5.3.6

・その他の部分の最小かぶり厚さ

その他部分の施工箇所等

最小かぶり厚さ

・土に接する軽量コンクリート

表5.3.6の値に加える寸法を10mmとする

・塵外に面する打放し部分

・

・

5

杭基礎の杭頭補強

杭頭補強の方法

(5.4.1)(図5.4.1)

既製コンクリート杭

※B形

・A形

既製コンクリート杭以外

・

6

帯筋

組立ての形の種類

(5.5.2)(図5.5.2)

※H形

・W-I形

・W-II形

・

径及び間隔

(5.5.2)(図5.5.2)

※図示

・

7

最上階柱頭補強

※行う

・行わない

8

梁貫通孔の補強

補強形式

(図5.10.1)(図5.10.2)(図5.10.3)(表5.10.1)(表5.10.2)(表5.10.3)

※H形

・MH形

・M形

・

・建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の梁貫通補強材の開発」において評価を取得したもの、又は、（財）日本建築センターの評価を受けたもの

9

機械吊上げ用フック

フックの種類

(5.10.3)(表5.10.4)(図5.10.6)

・A種

・B種

・C種

10

圧接完了後の試験

検査方法

(5.11.9)

※超音波探傷試験

・引張試験

6

コンクリート工事

1. コンクリートの強度

(6.1.4)

設計基準強度F_{cd}

(N/mm²)

適用範囲

※21

・18

・24、30

軽量コンクリートの設計基準強度

(6.1.4)

設計基準強度F_{cd}

(N/mm²)

適用範囲

※21

・

2

レディーミクストコンクリートの種別

レディーミクストコンクリートの種別

(6.1.5)(表6.1.1)(6.4.1)(6.4.2)

※I類

・II類

3

セメントの種類

セメントの種類

(6.3.2)(表6.3.1)(6.13.2)(6.16.3)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

上記普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210（ポルトランドセメント）に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。

水和熱：7日目で352 J/g(84cal/g)以下かつ28日目で402 J/g(96cal/g)以下

・高炉セメントのB種

4

骨材

砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分（JIS A 5308）

(6.3.3)

※A

・B

砕石及び砕砂（JIS A 5005）の種類

(6.3.3)(6.11.2)

※A

・B

軽骨材の塩分含有量

※0.04/WT以下

・

5

混和材料

混和材料の種類

(6.3.5)(6.4.8)

※混和剤

※A E剤又はA E減水剤標準形（JIS A 6204）

・高性能A E減水剤標準形（JIS A 6204）

※混和材

(6.3.5)(6.4.8)

※フライアッシュ（JIS A 6201）

・コンクリート用高炉スラグ微粉末（JIS A 6206）

・膨張材（JIS A 6202）

・

混和材料の使用量

※6.4.8(a)(b)(c)(d)による

・監督員の承諾する量による

・

6

軽量コンクリート

軽量コンクリートの種別

(6.11.1)(表6.11.1)

種別

所要気乾単位容積質量(t/m³)

適用箇所

・1種

※1.7~2.0

・

・2種

※4.1~1.7

・

7

無筋コンクリート

（6.14.1)(6.14.2)(6.14.3)

施工箇所

種類

免注強度(N/mm²)

スランプ(cm)

粗骨材の最大寸法

※6.14.1(1)(2)(3)

・※普通コンクリート

※15

※15又は16

※6.14.2(a)

・6.14.1(4)(5)

・軽量コンクリート

・18

8

特殊なコンクリート

特殊な要求性能におけるコンクリート

(6.1.3)

※適用なし

・以下により適用する

特殊な要求性能

適用範囲

措置

9

コンクリートの仕上がり

部材の位置及び断面寸法の許容差

(6.2.5)(表6.2.2)

※表6.2.2による

仕上がり平たんさ

(6.2.5)(表6.2.4)

※表6.2.4による

10

打放し仕上げの種別

打放し仕上げの種別

(6.2.5)(6.6.7)(6.9.3)(表6.2.3)

※合板せき板を用いる場合

種別

せき板

施工箇所

・A種

※6.9.3(b)(1)

・

・B種

※6.9.3(b)(2)

・

布基礎外部

・C種

※6.9.3(b)(3)

・

・合板せき板を用いない場合

せき板の種別

コンクリート仕上がり面の補修

※6.9.5(b)(1)(ii)

・

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ

※20mm

・

7

鉄骨工事

1. 鉄骨製作工場

溶接継目強度は、母材と同強度の溶接設計をして

・ある

・なし

※建設省告示第1103号第2号の規定に基づく建設大臣認定の鋼構造物製作工場（m）グレード以上（県内業者）

・監督員の承諾する業者

溶接接合付加試験

・行う

・行わない

(7.6.3)

2

施工管理技術者

鉄骨製作管理技術者の適用

(7.1.4)

※適用する

・適用しない

3

工 作 図

図書き原図

(7.1.5)

・作成する

・作成しない(加工図提出)

高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等

(7.1.5)

※「建築鉄骨設計基準」別紙4.5~4.8による

・図示

工事名称

新病院公用車庫新築工事

設計

一級建築士事務所
岩手県知事登録 第(お)644号
岩手県和賀郡湯田町湯田2 1-4 7-3
ユウ建築事務所
TEL 0197-84-2453
FAX 0197-84-2477

管理建築士
一級建築士 建設大臣登録 第148275号
高橋 祐一

検印

作図

設計年月
H25・11

図面内容
特記仕様書 1

縮尺

図面番号
1/27

3. 鉄の亜鉛メッキ

表面処理方法

種 別

施工箇所（手すり、タラップ以外）

溶融亜鉛メッキ

・A種

・B種

・C種

電気亜鉛メッキ

・D種

・E種

・F種

④ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
屋外 ・19型 ※25型
屋内 ※19型 ・25型
屋外の軒天井、ピロティ天井等の補強
・行う（・図示）
スタッド、ランナーの種類
※共仕表14.5.1による

(14.4.2) (表14.4.1)

(14.4.4)

(14.2.1) (14.6.2、14.6.3) (表14.2.2)

6. 手すり及びタラップ

種 類

種 別

表面処理の種別

手すり

・ステンレス製
SUS304

・NO.2B程度
・鏡面

タラップ

・ステンレス製
SUS304

・鋼製

※共仕表14.2.2のC種
・H.L

※共仕表14.2.2のC種

7. 金属成形板張り

種 別

形 状

寸 法 (mm)

表面処理

・アルミニウム
・ステンレス

・スパンドレル形
・パネル形

板 厚
1.0

板 幅

8. インサート

取付用下地
※共仕14章4節による
・図示
伸縮調整継手
・設ける
最上階床版等で、保溫板打込み部分は断熱材用インサート（亜鉛メッキ製品）、他の一般は断熱亜鉛メッキ製インサートを使用する。
製造所：
部材の種類
・250形 ・350形 200、600
隅角部、突出り部等の役物
・適用する
表面処理
※A-1種又はB-1種

(14.7.3)

(14.7.3)

(14.8.2)

(14.8.2)

(14.8.2) (表14.8.1)

(14.8.2)

(14.8.2) (表14.2.1)

9. アルミニウム製窓木

製造所（
・使用する（形状）
材料の種類 ・A種 ※B種
塗り厚 (mm) ・3 ※5～7

(15.2.2)

(15.2.2)

(15.4.3) (表15.4.1)

15 左官工事

種 類

呼 び 名

仕上げの形状

工法

備 考

・薄付け仕上塗材

・外装薄塗材E

・砂壁状
・着色骨材砂壁状

吹付け
吹付け

・内装薄塗材E

・砂壁状
・可とう系外装薄塗材E

吹付け
吹付け

・防水系外装薄塗材E

・砂壁状
・ゆず肌状
・さざ波状

ローラー
ローラー

・外装薄塗材S

・砂壁状
・凹凸状

吹付け
吹付け

・内装薄塗材W

・砂壁状
・ゆず肌状

吹付け
吹付け

・厚付け仕上塗材

・外装厚塗材C

・スタ
・タ
・ッ
・コ
・状

・吹放し
・凸部処理

吹付け
吹付け

・内装厚塗材C

・スタ
・タ
・ッ
・コ
・状

・吹放し
・凸部処理

吹付け
吹付け

・外装厚塗材E

・スタ
・タ
・ッ
・コ
・状

・吹放し
・凸部処理

吹付け
吹付け

・複層仕上塗材

・複層塗材CE

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

ローラー
吹付け

・可とう系複層塗材CE

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

ローラー
吹付け

・複層塗材S

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

ローラー
吹付け

・複層塗材E

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

吹付け
吹付け

・複層塗材RE

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

吹付け
吹付け

・複層塗材RS

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

ローラー
吹付け

・防水形複層塗材CE

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

ローラー
吹付け

・防水形複層塗材E

・ゆず肌状
・凸部処理
・凹凸模様

吹付け
吹付け

・防水形複層塗材RS

・凹凸模様

吹付け
吹付け

・軽量骨材仕上塗材

・吹付用軽量塗材

・砂壁状

吹付け
吹付け

・こて塗用軽量塗材

・平たん状

こて塗り

防火材料の指定
・指定する。
・屋内の壁、天井の仕上げ材は、建築基準法に基づく基材同等の限定を受けたものとする。
・次の箇所を除き、建築基準法に基づく基材同等の認定を受けたものとする。
（

(15.7.2)

5. ロックウール吹付け

吹付け厚さ
mm
色彩
・原色
・着色

(15.8.3)

16 建築工事

② アルミニウム製建具

建具見本の製作
・行う（建具番号WD-4）
・工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の取組
・行う（建具番号）
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級
(16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)

(16.1.4)

(16.1.4)

(16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)

(16.2.2) (16.2.4) (表14.3.1)

(16.2.2) (16.2.4) (表14.3.1)

施工箇所

種 別

着 色

外部に面する建具

※B-1種
・（・ブラウン系
・ブラック
・ステンカラー）

・

・

室内の建具

※C-1種
・

※無着色
・（・ブラウン系
・ブラック
・ステンカラー）

・

・

防音ドアセット、防音サッシ
・適用する
遮音性（
断熱ドアセット、断熱サッシ
・適用する
断熱性（H1
耐震ドアセット、断熱サッシ
・適用する
面内変形追随性（
防虫網
※合成樹脂製
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス (SUS316) 製
線径 (mm)
※0.25以上
網目（メッシュ）
※16～18
情景気密型ドアセット
・適用する
防音ドアセット、防音サッシ
・適用する
遮音性（T3
断熱ドアセット、断熱サッシ
・適用する
断熱性（
耐震ドアセット
・使用する
面内変形追随性（
鋼板のメッキの付着量
※Z12又はF12を満足するもの
構造用テープ
※共仕16.3.3(f)による
製造所（
鋼板厚の厚さ (mm)
※共仕16.3.2による
寸法許容差 (W,H>2.0m,W×H>3.0m,枠の見込み>120mmの場合)
情景気密型ドアセット
・適用する
防音ドアセット、防音サッシ
・適用する
遮音性（
断熱ドアセット、断熱サッシ
・適用する
断熱性（
耐震ドアセット、断熱サッシ
・適用する
面内変形追随性（
ビニル被覆鋼板
・適用する
召合わせ、縦小口包み板等の材質
※鋼板
・ステンレス鋼板
・アルミニウム合金の押出形材
寸法許容差 (W,H>2.0m,W×H>3.0m,枠の見込み>120mmの場合)
表面仕上げ
※H.L仕上げ
曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ
スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値
※共仕16.6.1による
スイングドア用自動ドア開閉装置の性能値
※共仕表16.6.2による
センサの種類
・熱線スイッチ
安全光線
寒冷地における凍結防止装置
・行う
マスターキーの製作
・製作する
・製作しない
板ガラス
・B級品
網入板ガラス
・網入（網入）型板ガラス
・網入（網入）みがき板ガラス
合わせガラス
・フロート、みがき板合わせガラス
強化ガラス
・フロート、みがき板強化ガラス
複層ガラス
板ガラスの材料
※保証書提出する
熱線反射ガラス
・熱線反射網入（網入）ガラス
色調
・グレー
・ブロンズ
・ブルー
アルミニウム製
・ガラスケット
グレイジングチャンネル型特見込み70mmの引き違い、片引き障子の場合
・
・シーリング材
鋼 製
・シーリング材
ステンレス製
・シーリング材

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

(16.2.2)

14. 断熱材

ニードルパンチカーペット (18.8.3)
厚さ (mm)帯電性製造所
・※人体帯電圧 3 K V 以下
タイルカーベット (18.8.3) (表18.8.2、表18.8.3)
種別パイル形状寸法 (mm)総厚さ (mm)電気抵抗 (Ω)品質の程度
※ A 種
・ B 種
※ルーフパイル
品質の程度は、参考商品名である
敷き方 (18.8.4)
平場※市松敷き・模様流し
階段部分・市松敷き※模様流し
断熱材打込み工法 (18.9.2) (22.2.2)
種類種別厚さ (mm)施工箇所
・ピース法ポリスチレンフォーム
・押出法ポリスチレンフォーム
・保温板3種 b・25接地部分
・硬質ウレタンフォーム
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
断熱材現場発泡工法 (18.9.3)
難燃性厚さ (mm)施工箇所
・2級20
・3級30
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
製造所:
パネル圧接装置の操作方法遮音性能表面仕上げ
・ブッシュ式
・一般タイプ (36dB未満)
・ハンド回転式
・遮音タイプ (36dB以上)
・焼付け塗装
・壁紙張り
製造所:
構造形式表面材質仕上げ不燃材料の設定品質・規格
・バルク式
・鋼板
・メラミン樹脂塗料又は、あり
・スタッド式
・アクリル樹脂塗料焼付
JIS A 6512によるもの
製造所:

15. 移動間仕切

断熱材打込み工法 (18.9.2) (22.2.2)
種類種別厚さ (mm)施工箇所
・ピース法ポリスチレンフォーム
・押出法ポリスチレンフォーム
・保温板3種 b・25接地部分
・硬質ウレタンフォーム
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
断熱材現場発泡工法 (18.9.3)
難燃性厚さ (mm)施工箇所
・2級20
・3級30
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
製造所:
パネル圧接装置の操作方法遮音性能表面仕上げ
・ブッシュ式
・一般タイプ (36dB未満)
・ハンド回転式
・遮音タイプ (36dB以上)
・焼付け塗装
・壁紙張り
製造所:
構造形式表面材質仕上げ不燃材料の設定品質・規格
・バルク式
・鋼板
・メラミン樹脂塗料又は、あり
・スタッド式
・アクリル樹脂塗料焼付
JIS A 6512によるもの
製造所:

16. 可動間仕切

断熱材打込み工法 (18.9.2) (22.2.2)
種類種別厚さ (mm)施工箇所
・ピース法ポリスチレンフォーム
・押出法ポリスチレンフォーム
・保温板3種 b・25接地部分
・硬質ウレタンフォーム
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
断熱材現場発泡工法 (18.9.3)
難燃性厚さ (mm)施工箇所
・2級20
・3級30
上記保溫材は、特定フロンを含まないものとする。
製造所:
パネル圧接装置の操作方法遮音性能表面仕上げ
・ブッシュ式
・一般タイプ (36dB未満)
・ハンド回転式
・遮音タイプ (36dB以上)
・焼付け塗装
・壁紙張り
製造所:
構造形式表面材質仕上げ不燃材料の設定品質・規格
・バルク式
・鋼板
・メラミン樹脂塗料又は、あり
・スタッド式
・アクリル樹脂塗料焼付
JIS A 6512によるもの
製造所:

19. 舗装工事

1. 路床
盛土用材料 (19.2.3) (表3.2.1)
・ A 種
・ B 種
・ C 種
・ D 種
路床土の支持力比ベ (C B R) 試験 (19.2.5)
・ 行う
路床締め度の試験 (19.2.5)
・ 行う
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

2. 路盤材料
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

3. アスファルト舗装
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

4. コンクリート舗装
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

5. 透水性舗装
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

6. 排水性舗装
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

20. 排水工事

1. 排水管
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60
2. 排水機及びふた
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60
3. 地業の材料
路床土の支持力比ベ (C B R) 試験 (19.2.5)
・ 行う
路床締め度の試験 (19.2.5)
・ 行う
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

2. 排水機及びふた
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60
3. 地業の材料
路床土の支持力比ベ (C B R) 試験 (19.2.5)
・ 行う
路床締め度の試験 (19.2.5)
・ 行う
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

3. 地業の材料
路床土の支持力比ベ (C B R) 試験 (19.2.5)
・ 行う
路床締め度の試験 (19.2.5)
・ 行う
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

4. 埋め戻し用材料
路床土の支持力比ベ (C B R) 試験 (19.2.5)
・ 行う
路床締め度の試験 (19.2.5)
・ 行う
路盤材料 (19.3.3)
※クラッシュランの C-40、クッションスラグの C S-40又は再生クラッシュランの R C-40
アスファルト舗装の種類 (19.4.2、19.4.3) (表19.4.1)
舗装の種類車道部の基層カラー舗装の種類
・アスファルト舗装
・無し・有り
・カラー舗装
・無し・有り
※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物
・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
・表層の上に常温塗布式舗装又はコート工法による樹脂系舗装
舗装の平坦性 (19.4.2)
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
カラー舗装に添加する着色骨材 (19.4.3)
・着色骨材 (材質)
・着色骨材 (材質)
アスファルト (19.4.3)
・再生アスファルト
・ストレータアスファルト
加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.4) (表19.4.6)
表層
・密粒度アスファルト混合物 (13)
・細粒度アスファルト混合物 (13)
基層
・粗粒度アスファルト混合物 (20)
シールコート
・行う (19.4.5)
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.4.6)
軽圧コンクリート・使用する (19.5.3) (19.5.4)
品質工法
早強セメント
・使用する (19.5.3)
注入目地材料の種類 (19.5.3) (表19.5.3)
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
コンクリート版厚さ試験
・行う (19.5.6)
舗装の平坦さ (19.6.2)
※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物の抽出試験
・行う (19.6.6)
舗装の平坦さ (19.7.2)
※著しい不陸がないもの
排水性舗装用アスファルト混合物の種類 (19.7.3) (表19.7.2)
※改質アスファルト I 型
・改質アスファルト II 型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (19.7.3) (表19.7.3)
・ P K R- T 1
・ P K R- T 2
仕上がり面の平坦さ (19.8.2)
※歩行に支障となる段差がないものとし、段差は 3mm 以内
コンクリート平板舗装 (19.8.2) (19.8.3)
目地材
・モルタル
・ N 3 0 0
インターロッキングブロック舗装 (19.8.3)
材質、種類形状、寸法表面加工製造所
焼結タイル製品100×200×60

21. 植栽工事

1. 植栽地の試験
酸性試験・行う (21.1.3)
塩分量試験・行う (21.1.3)
2. 植栽基盤の設備
芝・地被類の植栽部分
※行う・行わない
上記以外
・行う※行わない
3. 有効土層の面積、厚さ、植栽基盤の工法
樹木の樹高 (m)有効土層の厚さ (cm)面積工法
・12以上※100・120・150
・葉張り部分
※ A 種
・7~12※80・100
・植栽部分
・ B 種
・3~7※60・80
・図示
・ C 種
・3以上※50・60
・ D 種
※芝、地被類※20
・植栽部分・図示※ B 種
適用する (21.2.3) (21.2.4)
※現場発生の上良土・客土 (21.3.2)
種類 (21.3.2)
※丸太 (樹根 ※杉の焼き丸太)・竹
形状 (21.3.3)
・添え柱型・鳥居型・ハツ掛・布掛け・ワイヤ支柱・地下埋設形支柱
7. 幹巻き用材料
※幹巻き用テープ・わら、こも (21.3.2)
8. 芝 (21.4.2) (21.4.3)
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
9. 吹付けは種
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
10. 新植、移植樹木、芝等の枯損償
1. カーテンウォールの性能 (22.1.3)
性能値
耐風圧性・耐温度差性
耐震性水平方向鉛直方向遮音性
水密性遮熱性
気密性
耐火性
性能確認方法 (22.1.3)
※共仕 22.1.3I による

2. 植栽基盤の設備
芝・地被類の植栽部分
※行う・行わない
上記以外
・行う※行わない
3. 有効土層の面積、厚さ、植栽基盤の工法
樹木の樹高 (m)有効土層の厚さ (cm)面積工法
・12以上※100・120・150
・葉張り部分
※ A 種
・7~12※80・100
・植栽部分
・ B 種
・3~7※60・80
・図示
・ C 種
・3以上※50・60
・ D 種
※芝、地被類※20
・植栽部分・図示※ B 種
適用する (21.2.3) (21.2.4)
※現場発生の上良土・客土 (21.3.2)
種類 (21.3.2)
※丸太 (樹根 ※杉の焼き丸太)・竹
形状 (21.3.3)
・添え柱型・鳥居型・ハツ掛・布掛け・ワイヤ支柱・地下埋設形支柱
7. 幹巻き用材料
※幹巻き用テープ・わら、こも (21.3.2)
8. 芝 (21.4.2) (21.4.3)
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
9. 吹付けは種
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
10. 新植、移植樹木、芝等の枯損償
1. カーテンウォールの性能 (22.1.3)
性能値
耐風圧性・耐温度差性
耐震性水平方向鉛直方向遮音性
水密性遮熱性
気密性
耐火性
性能確認方法 (22.1.3)
※共仕 22.1.3I による

3. 有効土層の面積、厚さ、植栽基盤の工法
樹木の樹高 (m)有効土層の厚さ (cm)面積工法
・12以上※100・120・150
・葉張り部分
※ A 種
・7~12※80・100
・植栽部分
・ B 種
・3~7※60・80
・図示
・ C 種
・3以上※50・60
・ D 種
※芝、地被類※20
・植栽部分・図示※ B 種
適用する (21.2.3) (21.2.4)
※現場発生の上良土・客土 (21.3.2)
種類 (21.3.2)
※丸太 (樹根 ※杉の焼き丸太)・竹
形状 (21.3.3)
・添え柱型・鳥居型・ハツ掛・布掛け・ワイヤ支柱・地下埋設形支柱
7. 幹巻き用材料
※幹巻き用テープ・わら、こも (21.3.2)
8. 芝 (21.4.2) (21.4.3)
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
9. 吹付けは種
種類※こうらい芝・野芝
工法
平地※目地張り・べた張り・筋芝張り
切り土法面・目地張り※べた張り・筋芝張り
盛り土法面・目地張り・べた張り※筋芝張り
種子の量三種混合 (21.4.2)
引き渡しの日から 1 年 (21.3.4) (21.3.6) (21.4.7)
10. 新植、移植樹木、芝等の枯損償
1. カーテンウォールの性能 (22.1.3)
性能値
耐風圧性・耐温度差性
耐震性水平方向鉛直方向遮音性
水密性遮熱性
気密性
耐火性
性能確認方法 (22.1.3)
※共仕 22.1.3I による

22. カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能 (22.1.3)
性能値
耐風圧性・耐温度差性
耐震性水平方向鉛直方向遮音性
水密性遮熱性
気密性
耐火性
性能確認方法 (22.1.3)
※共仕 22.1.3I による

23. ユニッツその他工事

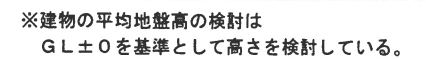
1. 階段滑止め (23.2.2)
材質幅 (mm)取付工法
防滑シート、ノンスリップ40※接着工法 (ビス止め)
・埋込工法
2. フリーアクセスフロア (23.2.4)
施工箇所情報系実習室、職員室、事務室
材質 Sチール
(形状) 500×500
高さ (mm) 150
許容水平力 (G) 0.6・1.0
床仕上げ材
・タイルカーベック別途
・帯電防止ビニル床スタイル
ボーダー部、スロープ
・一般部分の仕様にする
・図示
製造所: (23.2.4)
表面材の材質 (23.2.5)
・メラミン樹脂系化粧板
・ポリエステル樹脂系化粧板
形状・図示 (23.2.5)
取付方法・図示 (23.2.5)
製造所: (23.2.5)
3. トイレブース (23.2.6)
形式・構型ブラインド
ブラインドの種類※ギア式・コード式開閉形式・片開き・両開き
操作形式・1本操作コード・2本操作コード
スラットの幅 (mm) ※25・35
ヘッドボックスの材質※鋼製
ボトムレールの材質※鋼製
スラットの材質※アルミニウム合金製
・アルミスラット
・クロススラット
4. ブラインド (23.2.7) (表23.2.1)
名称・品質の程度ひだの種類形式引分け設置
・片引き・引分け・あり・なし
・片引き・引分け・あり・なし
・片引き・引分け・あり・なし
・片引き・引分け・あり・なし
品質の程度は、参考商品である
暗幕用カーテンの高端、上端、召合せの重掛け (mm) (23.2.7)
※300以上
5. カーテン (23.2.7)
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
形状
・ C 型
・ D 型
・角型
6. カーテンレール (23.2.7)
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
形状
・ C 型
・ D 型
・角型
7. カーテンボックス (23.2.8)
材質
・アルミニウム
木製
色彩
・シルバー
・着色 (色)
8. アコーディオンドア (23.2.8)
表面材
・ビニルレザー張り (防炎加工)
製造所 ()
9. 黒板及びホワイトボード (23.2.8)
黒板
種類※焼付け
・ホワイトボード
10. 表示 (23.2.10)
区分形状寸法 (mm)材質
・対人衝突防止表示
・図示
・図示
・図示
・非常用出入口
・図示
・図示
・図示
・隠数表示板
平付125×210ステンレス
区分材質、(厚さ (mm))印刷等の種別色書体
・室名札 ()
・ピクトグラフアクリル ()シルク印刷カラー
・とびら番号 ()
・庁舎案内板 ()
・各階案内板 ()
・施設案内板 ()
11. コーナービート (23.2.12)
材質
※ステンレス製
・アルミニウム合金製
軟質塩化ビニル
12. 天井見切縁
材質
・アルミニウム製
塩化ビニル

24. 点検口

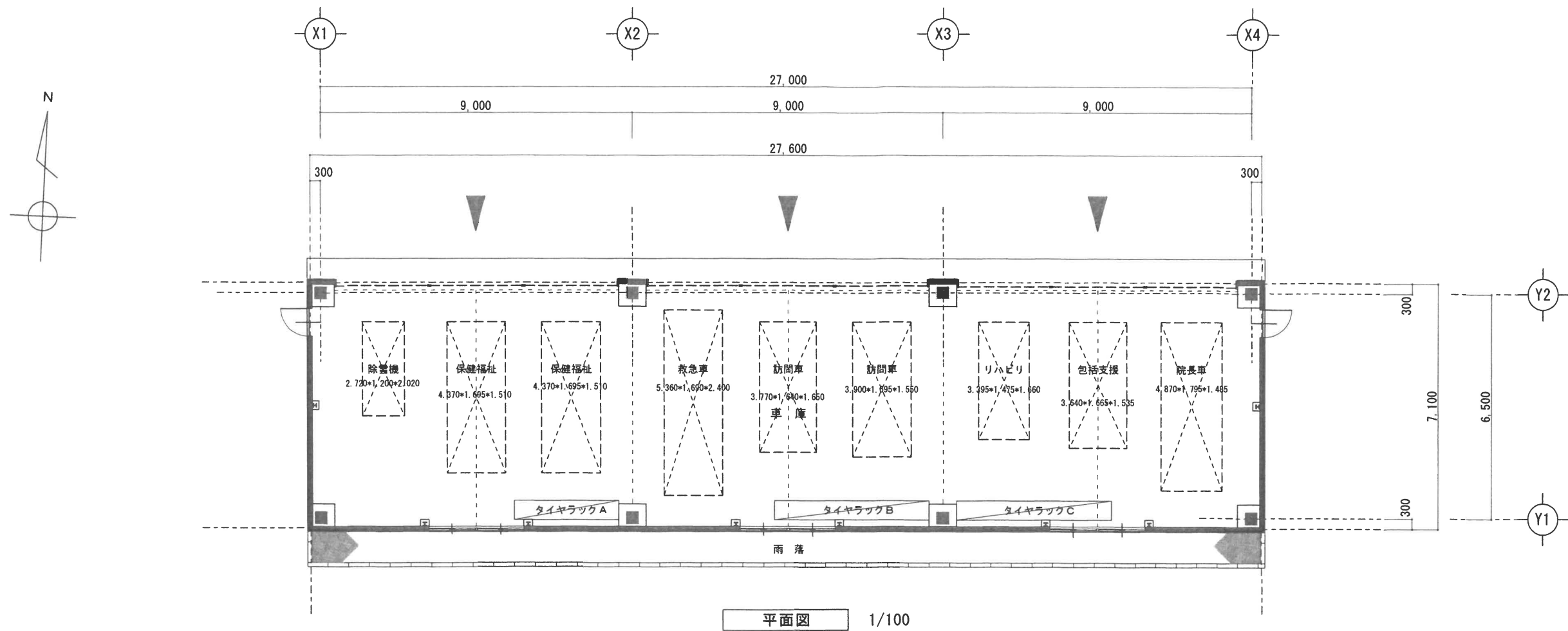
形式材質寸法形式
天井・アルミニウム製
・450×450
・600×600
・ (外枠)
・ (内枠)
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目タイプ
・ 網目



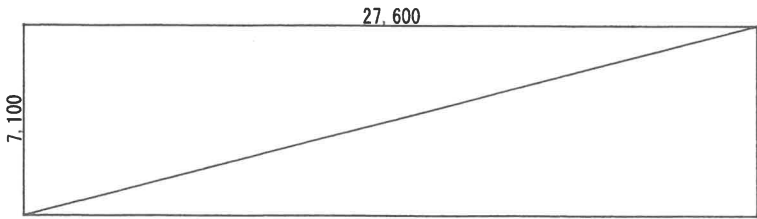
配置図 1/250



工事名称	新病院公用車庫新築工事	設 計	一級建築士事務所	管理建築士	検 印	作 図	設計年月	図面内容	縮 尺	図面番号
			岩手県知事登録 第(元)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3  ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高 橋 祐 一						
							H25・11	案内図 配置図 求積図・表	1/250	5 / 27



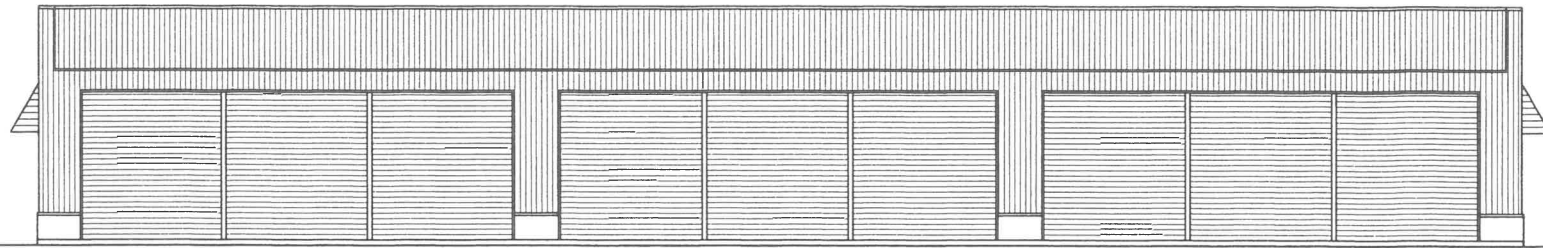
仕 上 表			
外 部 仕 上 表		内 部 仕 上 表	
基礎	鉄筋コンクリート打放（見がかりコーン補修）	床	コンクリート金鍍押え 成形伸縮目地（アスファルト注入）
外壁	0.4mm角波カラー鉄板張り（ステンビス） 水切り・0.4mmカラー鉄板 無目包・0.4mmカラー鉄板	巾木	コンクリート打放（コーン補修）
屋根	0.8mmハゼ式折版 4mmポリエチレンフォーム貼り（FP03ORF-0585） 木下地 笠木・0.4mmカラー鉄板包 タイトフレーム・軒先面戸・止面戸・ケラバ0.8mmカラー鉄板 雪止め・L-65*65*6 クロムメッキ	壁	外壁材表わし 見がかり鉄部・オイルペイント（2）塗り
開口部	軽量バランスシャッター・アルミドア・アルミサッシ	天井	屋根材表わし 見がかり鉄部・オイルペイント（2）塗り
軒天井	LGS（25）下地 6mmエンボスカラー（同等品）ジョイナー使用	備考	タイヤラック A（3.000*1.800*550） タイヤラック B（4.500*1.800*550） タイヤラック C（4.500*1.800*550）
庇	18mm耐火野地板（FP03ORF-9082） アスファルトルーフィング940下葺 0.4mm長尺カラー鉄板3段葺き 鼻隠し・0.4mmカラー鉄板包		
その他	車出入・コンクリート金鍍押え		



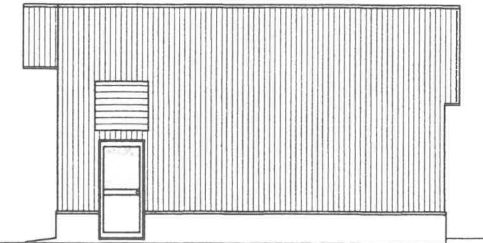
建築面積
27.6*7.1=195.96㎡

床面積
27.6*7.1=195.96㎡

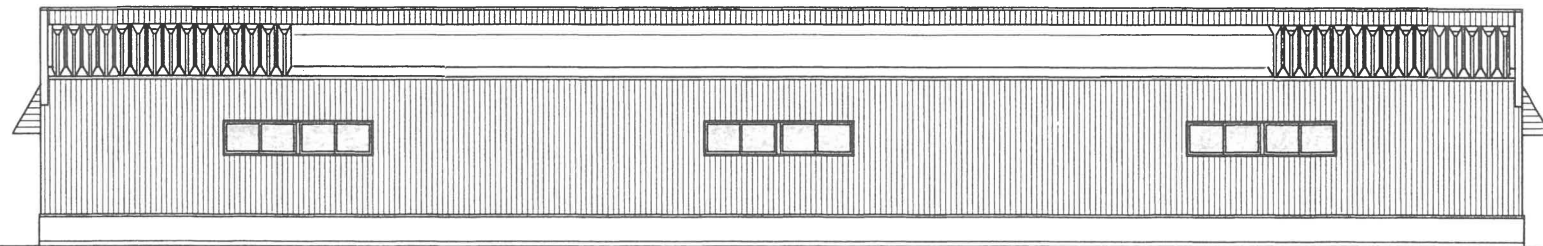
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設 計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(元)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田2-1-47-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士	検 印	作 図	設計年月	図面内容	縮 尺	図面番号
				一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	平面図 仕上表	1/100	6 / 27



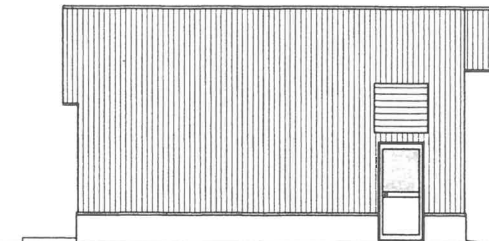
北側立面図 1/100



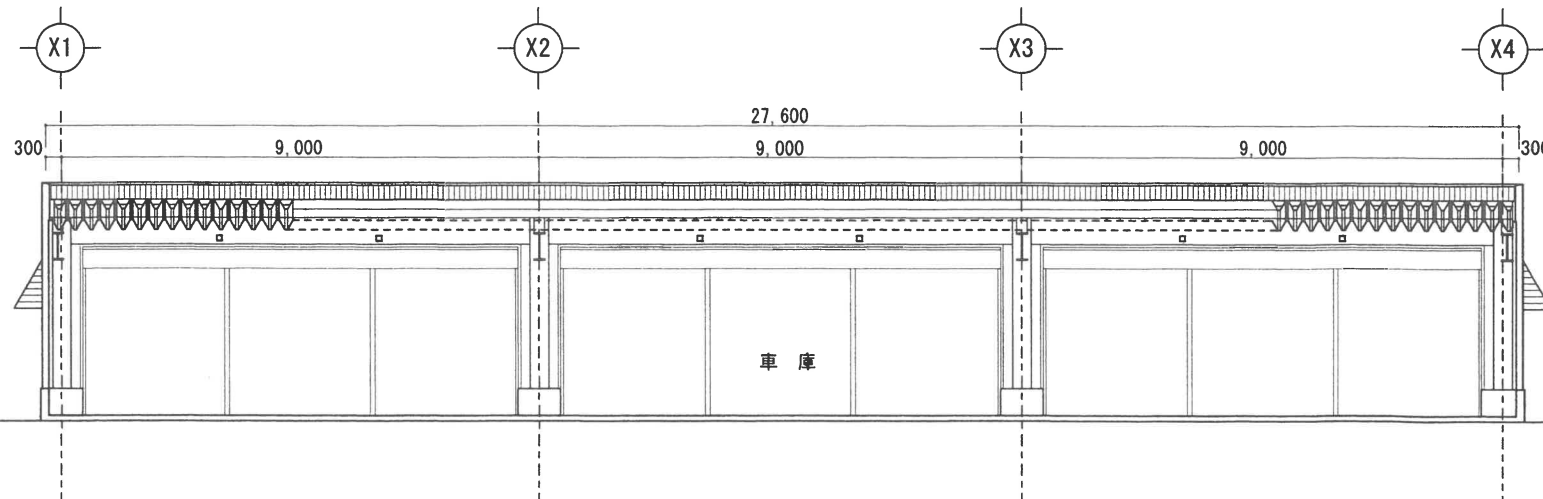
西側立面図 1/100



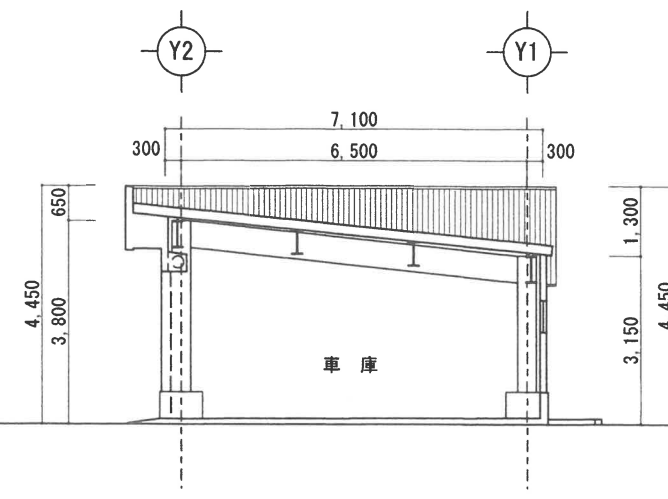
南側立面図 1/100



東側立面図 1/100

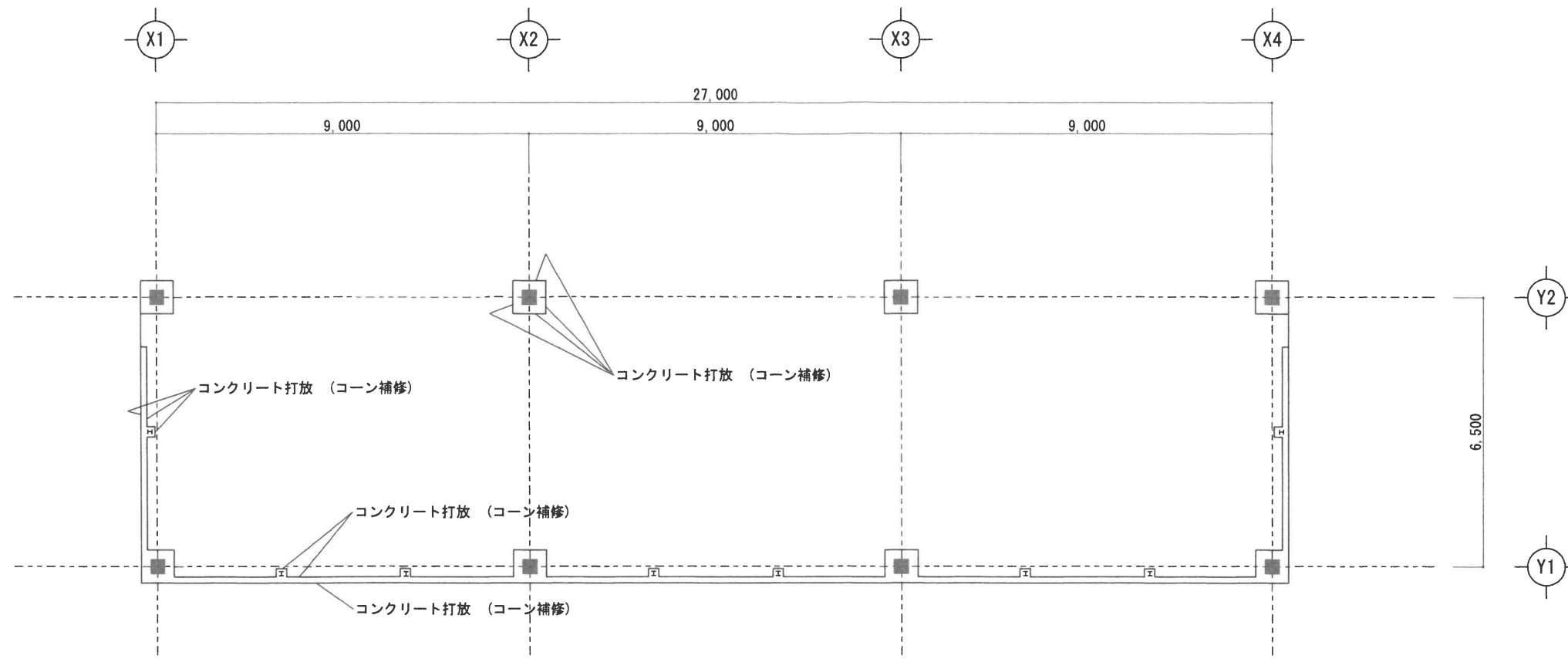


西-東断面図 1/100

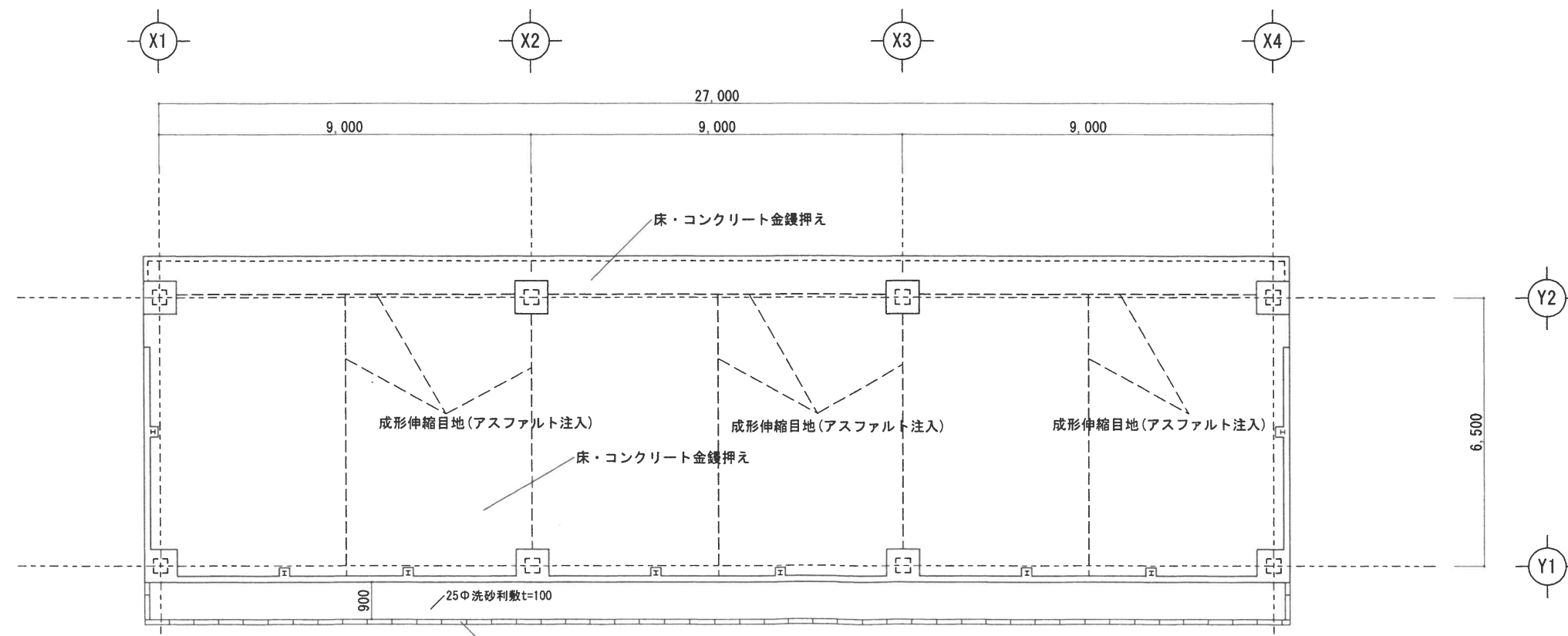


北-南断面図 1/100

工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(元)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田2-1-4-7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477		管理建築士	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
					一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	立面図 断面図	1/100	7/27

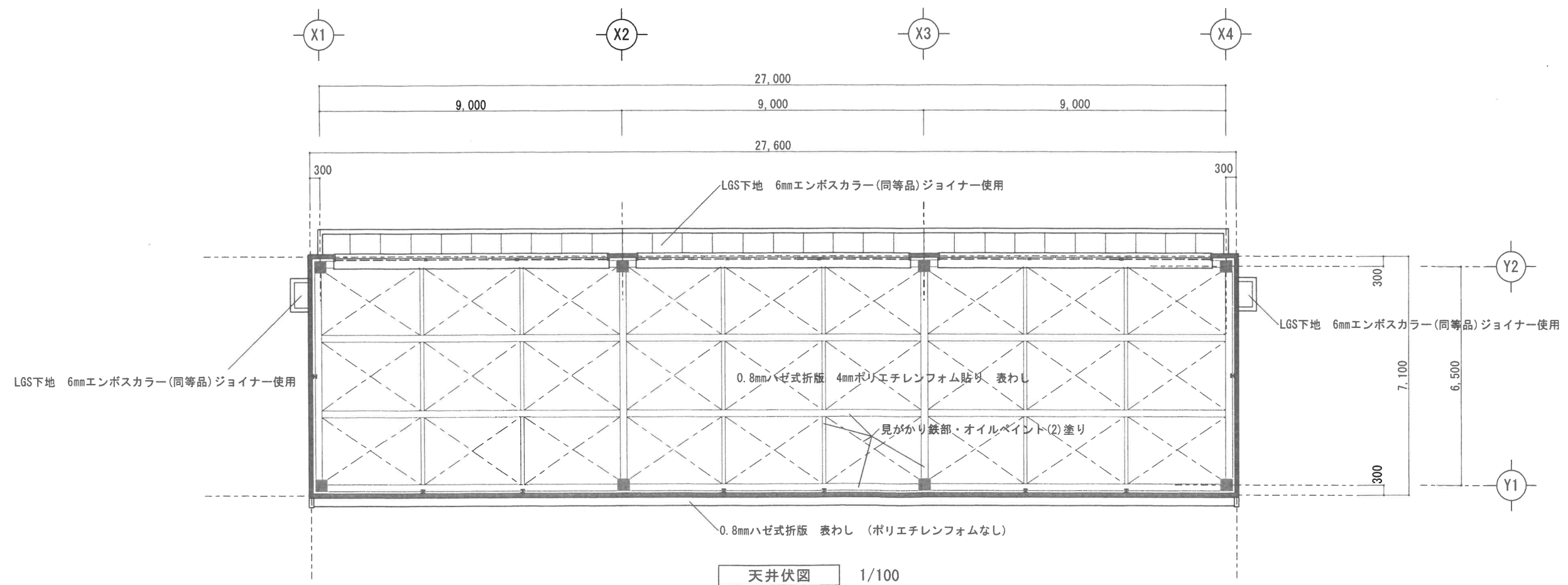
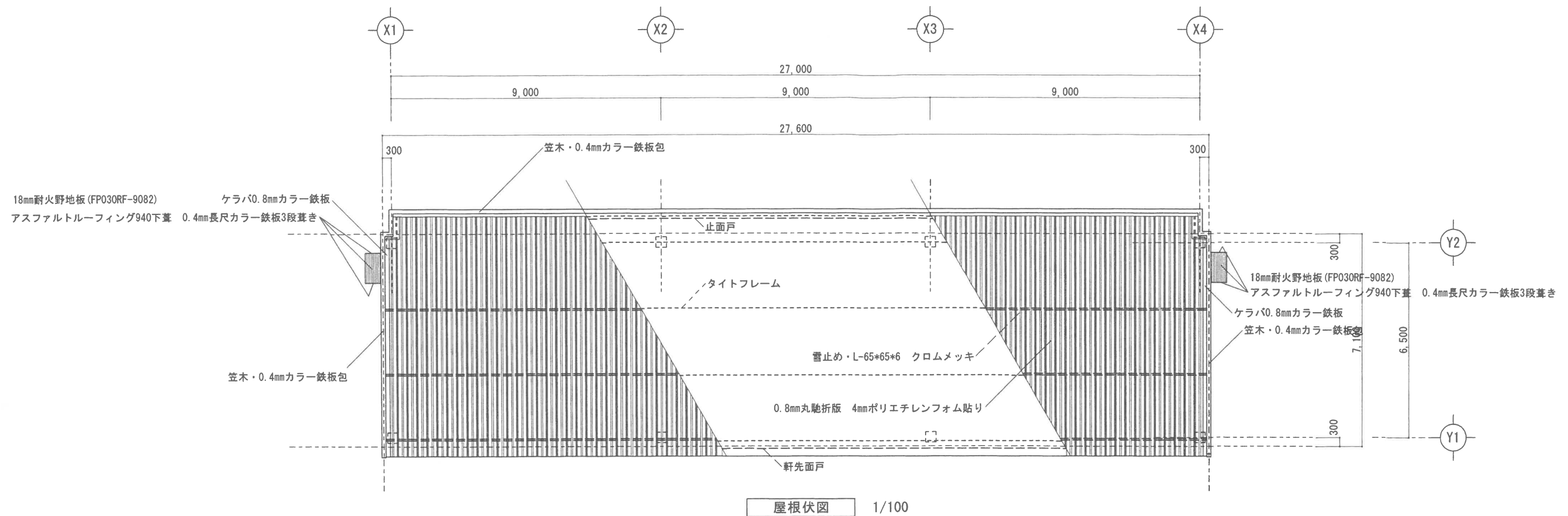


立上伏図 1/100

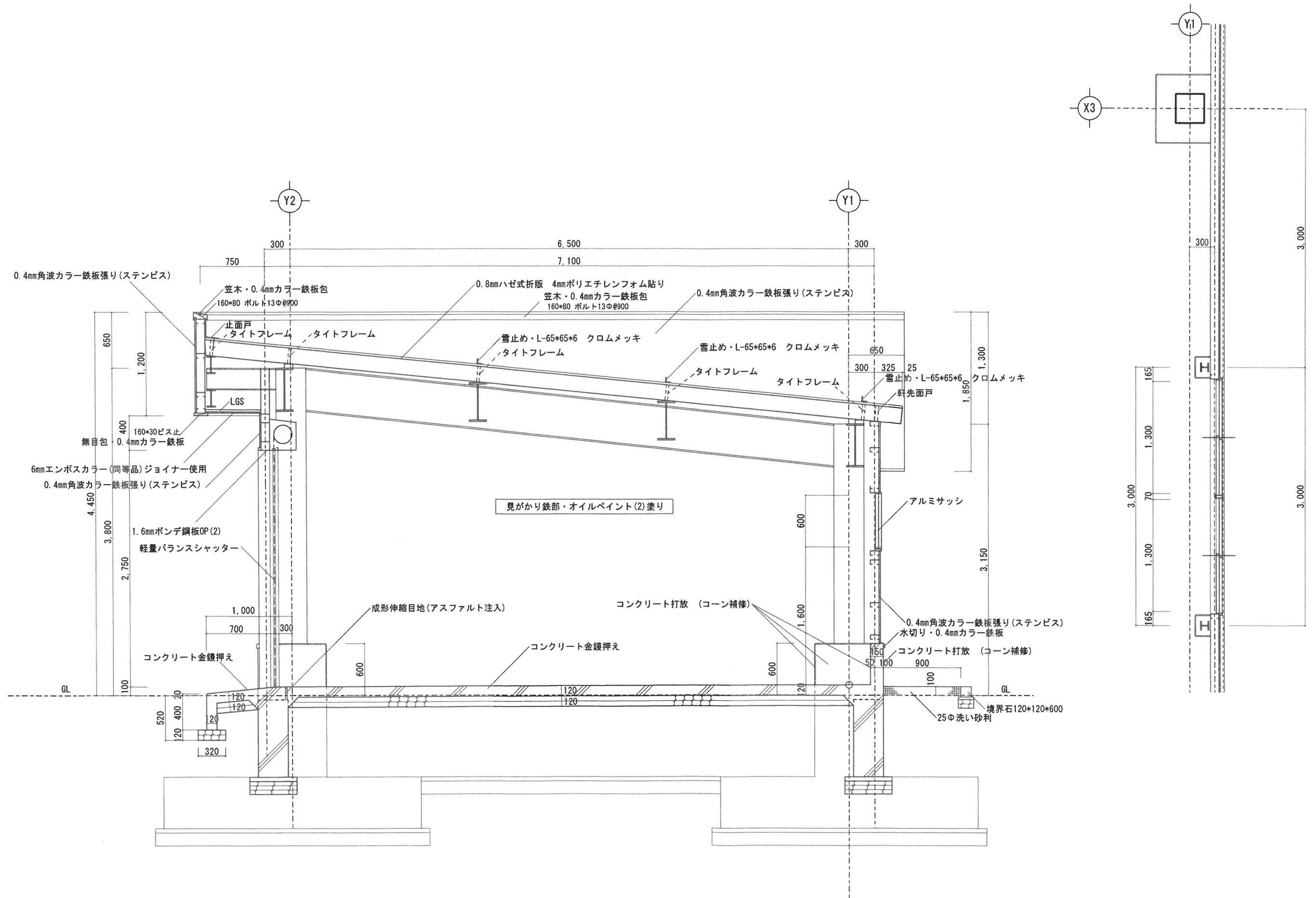


床伏図 1/100

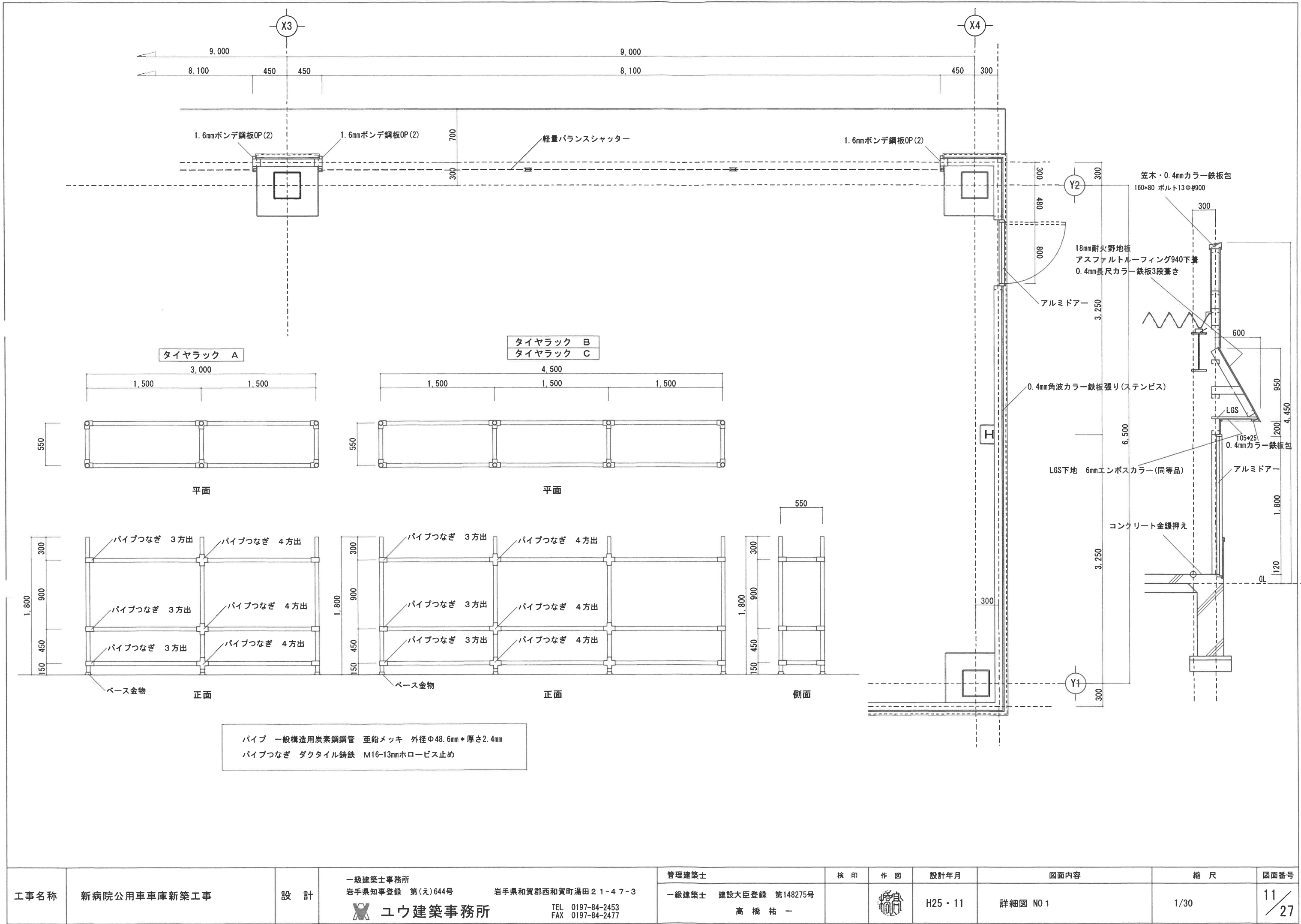
工事名称	設計	管理建築士	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
新病院公用車車庫新築工事	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2-1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	床伏図 立上伏図	1/100	8/27



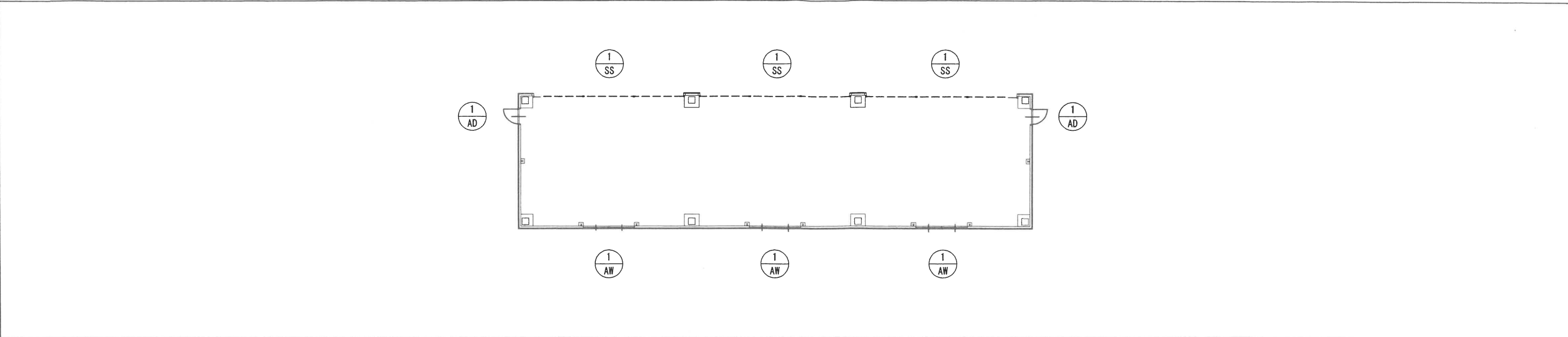
工事名称	新病院公用車庫新築工事	設 計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(元)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4-7-3		管理建築士	捺 印	作 図	設計年月	図面内容	縮 尺	図面番号
			 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高 橋 祐 一		H25・11	天井伏図 屋根伏図	1/100	9 / 27		



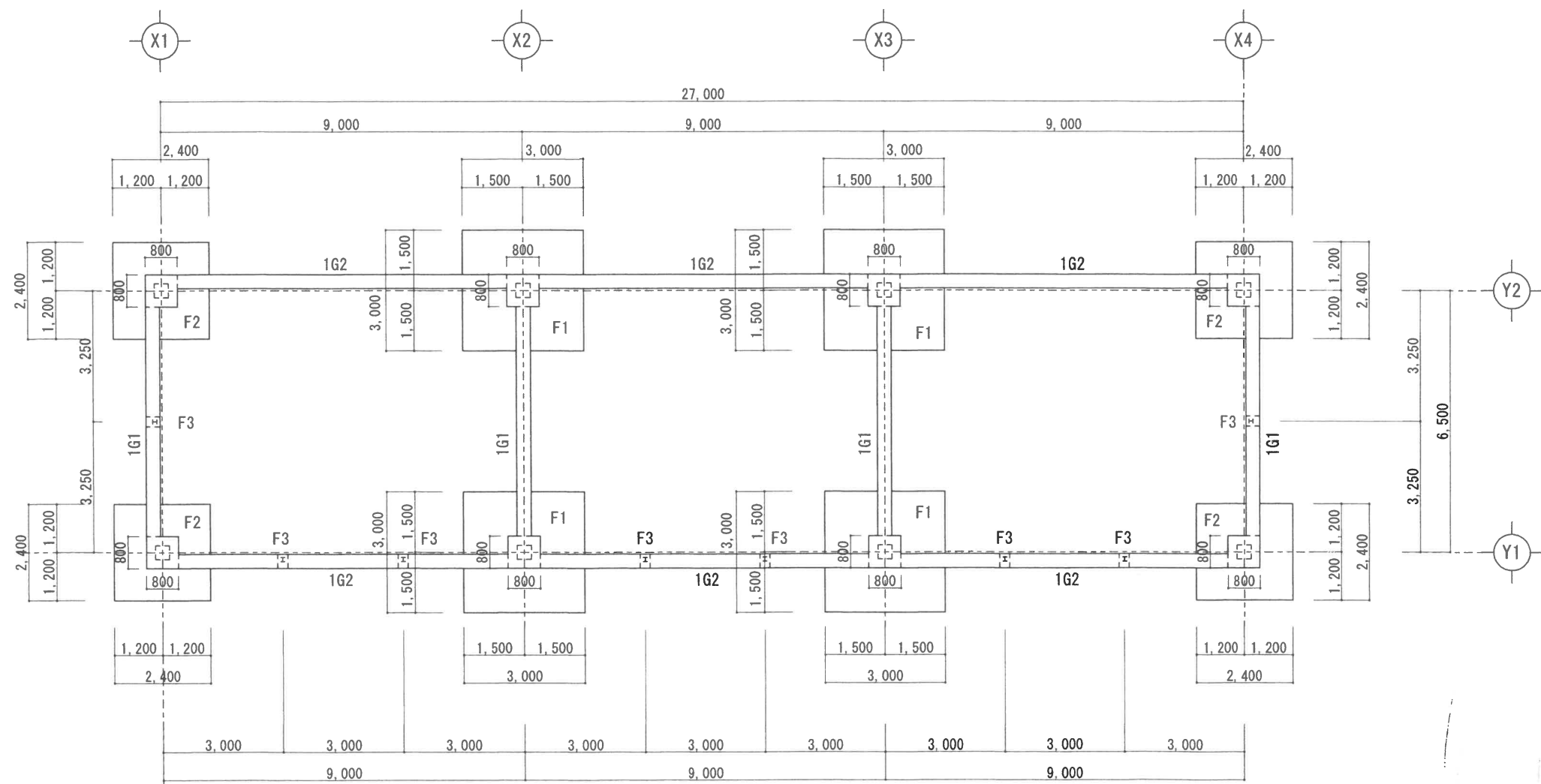
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田2 1-4 7-3  ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
				一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	詳細図 NO 1	1/30	10/27



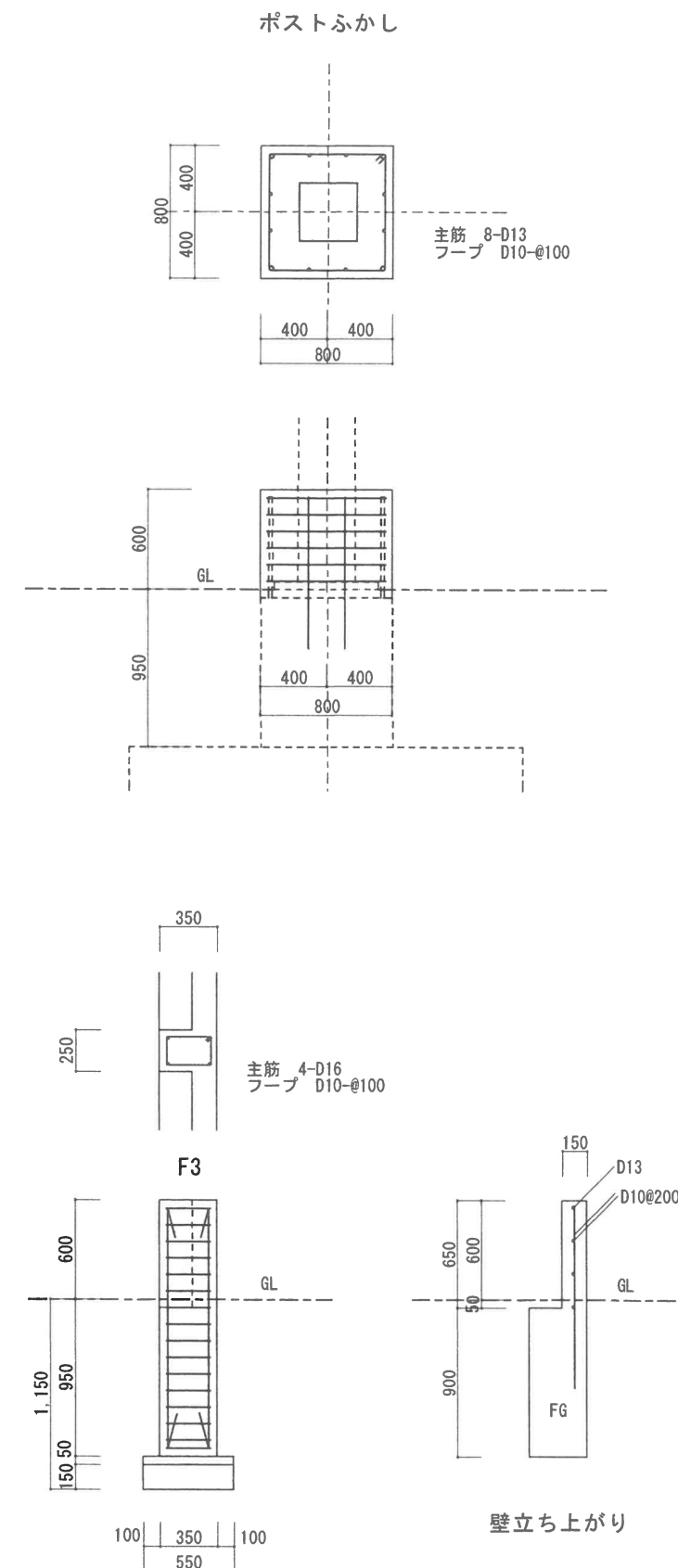
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士	一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一	検印		作図		設計年月	H25・11	図面内容	詳細図 NO 1	縮尺	1/30	図面番号	11 / 27
------	--------------	----	--	-------	--------------------------------	----	--	----	---	------	--------	------	----------	----	------	------	---------



記号・数	1 AD 2		1 AW 3							
形態										
形式	片開きドアー		2連窓サッシ							
寸法	800*1800		2.770*600							
材種	カラーアルミ		カラーアルミ							
仕上										
ガラス	4mm型ガラス		4mm型ガラス							
錠	HMJ- 1		クレセント							
金物	ドアチェック・ステンレス蝶番・付属金物一式		付属金物一式							
備考	鉄骨用サッシ・見込70		鉄骨用サッシ・見込70							
記号・数	1 SS 3									
形態										
形式	3連軽量バランス式シャッター									
寸法	8.100*2.750									
材種	カラー鋼板									
仕上										
ガラス										
錠	ディンプル錠									
金物	座板・ガイドレール・ケース・移動中柱・手掛け									
備考	内巻・スラット0.5mm									
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3  ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士 一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一	検印	作図 	設計年月 H25・11	図面内容 建具表	縮尺 1/150 1/50	図面番号 12/27



基礎伏図 1/100



特記以外の鉄筋 SD295A とする。
コンクリート強度 21N/mm²

工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士 一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
							H25・11	基礎伏図 基礎詳細図	1/100 1/30	13/27

3-4 溶接継手の種類別開先標準

(1) 完全溶込み溶接

図3.2 突合わせ継手(B)の開先標準

(単位: mm) (別図3.2)

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフィールドアーク半自動溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 6$		$t \leq 12$	
$6 < t \leq 19$		$12 < t \leq 22$	
$19 < t \leq 40$		$22 < t \leq 40$	

図3.3 T形継手(T)の開先標準

(単位: mm) (別図3.3)

H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフィールドアーク半自動溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
$t \leq 6$		$t \leq 12$	
$6 < t \leq 19$		$12 < t \leq 22$	
$19 < t \leq 40$		$22 < t \leq 40$	

一級建築士事務所

岩手県知事登録 第(お)644号

岩手県和賀郡西和賀町湯田 2-1-4-7-3

ユウ

ユウ建築事務所

TEL 0197-84-2453
FAX 0197-84-2477

(3) 部分溶込み溶接		(3.4.3)																					
片面溶接を行う場合には、原則として部分溶込み溶接を行わない側に隅肉溶接を行う。																							
図3.8 部分溶込み溶接(P)の関先標準		(単位: mm) (別図3.7)																					
H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルシールドアーク半自動溶接)																							
1 (片面溶接)		2 (両面溶接)																					
1.2 ≦ t ≦ 4.0		1.6 ≦ t ≦ 4.0																					
<table> <tr> <td>t</td><td>12</td><td>16</td><td>19</td><td>22</td><td>25</td><td>28</td><td>32</td><td>36</td><td>40</td></tr> <tr> <td>D</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>16</td></tr> </table> $\sqrt{4} t \leq S \leq 10$		t	12	16	19	22	25	28	32	36	40	D	10	11	12	13	13	14	15	15	16	$D1 = (t-2)/2$ $D2 = (t-2)/2$ $\sqrt{4} t \leq S \leq 10$	
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40														
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16														
(4) フレア溶接																							
図3.9 フレア溶接(F L)の関先標準		(単位: mm) (別図3.8)																					
H (アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルシールドアーク半自動溶接)																							
1 (丸鋼等片面溶接)		2 (丸鋼等両面溶接)																					
		$t \geq 3$ のとき $S = t$ $t < 3$ のとき $S = 3$																					
3-5 鋼管柱の継手																							
「角形鋼管柱」 X-X断面図		「丸形鋼管柱」																					
(注) R-(a)は厚さ9mm以上とし、柱径400mm以下の場合は省略してもよい。																							
図3.10 鋼管柱の継手 (単位: mm) (付図1.22)																							
3-6 エンドタブ		(3.5.1)																					
(1) エンドタブの材質は、母材と同等以上、形状は、母材と同等・同関先のものとし、長さ、図3.11及び表3.4による。 ただし、あらかじめ溶接端部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものをを用いる場合については、この限りではない。																							
		表3.4 エンドタブの長さ (単位: mm) (別表3.4)																					
図3.11 エンドタブ (別図3.9)																							
3-7 裏当て金及び裏はつり		(3.5.2)																					
(1) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は、原則としてフランジの内側に設置し、取付け方法は、図3.12による。 裏当て金の組立溶接は、接合部に悪影響を与えないように、エンドタブの位置又は裏フランジ幅の1/4の位置に行う。																							
(2) 裏当て金の厚さ及び隅肉溶接のサイズは、表3.5及び表3.6により、材質は、原則として母材と同等以上のものとする。																							
(3) 完全溶込み溶接を両面溶接とする場合は、裏溶接の前に裏はつりを行う。 裏はつりは、鋼金な溶着部分が破れるまではつり取るものとする。 ただし、自動溶接において、完全な溶込みが得られたことが確認できる場合には、裏はつりを省略することができる。																							
図3.12 裏当て金の溶接		(別図3.10)																					
表3.5 裏当て金の長さ (単位: mm) (別表3.5)		表3.6 溶接のサイズ (単位: mm) (別表3.6)																					
<table> <tr> <th>溶接方法</th><th>t</th></tr> <tr> <td>手 溶 接</td><td>6 以上</td></tr> <tr> <td>半自動溶接</td><td>9 以上</td></tr> <tr> <td>自動溶接</td><td>12 以上</td></tr> </table>		溶接方法	t	手 溶 接	6 以上	半自動溶接	9 以上	自動溶接	12 以上	<table> <tr> <th>裏当て金の厚さ</th><th>S</th></tr> <tr> <td>t ≦ 9</td><td>5</td></tr> <tr> <td>t > 9</td><td>9</td></tr> </table>		裏当て金の厚さ	S	t ≦ 9	5	t > 9	9						
溶接方法	t																						
手 溶 接	6 以上																						
半自動溶接	9 以上																						
自動溶接	12 以上																						
裏当て金の厚さ	S																						
t ≦ 9	5																						
t > 9	9																						
図面内容		縮 尺																					
鉄 骨 標 準 図 NO 1		図面番号																					
		15 / 27																					

3-8 スカラップ (3.5.3)

(1)改良型スカラップの形状は、図3.13により、スカラップ半径Sr1は35mm、Sr2は10mmとする。
スカラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、接合部は滑らかに仕上げる。
(2)従来型スカラップの形状は、図3.14により、スカラップ半径Srは35mmとする。

3-9 スニップカット (3.5.4)

(1)溶接の交差部をスニップカットで処理する場合は図3.15により、スニップカットの寸法(Sc)は、鋼材の板厚に応じて、表3.8による。
ただし、既設鋼材のスニップカットについては、 $Sc = r + 2$ により求めるものとする。
なお、スニップカット部は、溶接により埋めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

3-10 溶接部分の段差 (3.5.5)

(1)完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が1.0mmを超える場合は、図3.16による。

3-11 余量り (3.5.6)

(1)完全溶込み溶接 (突合むね継手、かど継手)、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余量りを行うものとする。余量り高さの限度は、表3.9による。
(2)完全溶込み溶接 (T形継手)の溶接部は、ピード表面が滑らかになるように仕上げるものとする。

溶接継手	溶接方法	余量り高さの限度
突合むね継手 かど継手	手溶接	3
	半自動溶接	4
	自動溶接	4
隅肉溶接 フレア溶接	手溶接 半自動溶接	3

3-12 鋼管分岐継手 (3.5.7)

(1)鋼管分岐継手における支管は、主管外径より細径のものとし、開先標準は、図3.17による。
ただし、自動溶接により開先加工を行う場合については、この限りではない。
適用管径 3.2mm ≤ φ ≤ 12mm
交角 30° ≤ θ ≤ 150°

3-13 スタッド溶接 (3.5.8)

(1)スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。
(2)スタッド溶接用材料は、JIS B1196「圧付スタッド」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、13、16、19及び22の4種類とする。
(3)スタッド溶接は、デッキプレート上から行ってはならない。
ただし、デッキプレート厚1.6mm以下で、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。
(4)スタッドの開隔、ゲージ等の寸法は、表3.10及び図3.18による。

項目	寸法
開隔 (p)	呼び名の7.5倍以上かつ600mm以下
最小ゲージ (g)	呼び名の5倍以上
へりあき (a1)	4.0mm以上

4 高力ボルト接合等 (標準7.2.2) (4.1.1)

4-1 高力ボルト (1)高力ボルトの種類は、JIS B1186「摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット」(2種F10T)の規格に適合するもの、必要基準法に基づき認定されたトルシア高力ボルト(2種S10T)及び溶融亜鉛めっき高力ボルト(1種F10T)とする。

4-2 普通ボルト (1)普通ボルトのボルト及びナットは、表4.1により、ねじは、JIS B 0205「一般用メートルねじ」による。座金は、JIS B1256「平座金」による並形一部品等線Aとする。

	ボルト	ナット
規格番号、規格名称	JIS B 1180 (六角ボルト)	JIS B 1181 (六角ナット)
種類	並形六角ボルト	並形六角ナット
材料区分	鋼	鋼
強度区分	4, 6	4 T
ねじの種類・規格	JIS B 0205-4 (一般用メートルねじ第4部: 基準寸法) による。	
ねじの公称域クラスの規格	JIS B 0209-1 (一般用メートルねじ第1部: 標準及び基礎データ) による6g	JIS B 0209-1による6H
仕上げの程度	中	中

4-3 ボルトの表示記号 (別表4.2)

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T, S10T)		●	●	●	●	●
溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)		●	●	●	●	●
普通ボルト		○	○	○	○	○

4-4 ボルト孔の径 (単位:mm) (別表4.3)

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T, S10T)		14	18	22	24	26
溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)		※1	17.5	22.0	24.0	26.0
普通ボルト		※2	12.5	16.5	20.5	24.5

※1 国土交通大臣認定条件による。
※2 角鋼、鋼線鋼の取付用ボルトの場合は、ボルトの径+1.0mmとすることができる。

4-5 高力ボルトの長さ (4.4)

(1)高力ボルトの長さは、締付け長さに表4.4の値を加えたものを標準長さとする。

ボルトの種類	ねじの呼び	M12	M16	M20	M22	M24
トルシア高力ボルト			25	30	35	40
JIS高力ボルト及び溶融亜鉛めっき高力ボルト		25	30	35	40	45

4-6 締結距離及びボルト間隔 (4.5.1)

(1)締結距離及びボルト間隔は、原則として表4.6による。
ただし、引張材の場合において、せん断耐力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の締結距離は、ボルト軸径の2.5倍以上とする。

ねじの呼び	締結距離 (e)	ボルト間隔 (p)
M12		
M16		
M20	40	60
M22		
M24	45	70

4-7 千鳥打ちのゲージ及び間隔 (4.5.2)

ゲージ (g)	千鳥打ちの間隔 (P1)	
	ねじの呼び	
	M12, M16, M20, M22	M24
3.5	5.0	6.5
4.0	4.5	6.0
4.5	4.0	5.5
5.0	3.5	5.0
5.5	2.5	4.5
6.0	-	4.0

4-8 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (4.5.3)

表4.7 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位:mm) (別表4.7)

A又はB	E1	E2	最大軸径		B	E1	E2	最大軸径		B	E1	最大軸径	
			B	E2				B	E2			B	E2
4.5	2.5	1.2	10.0	5.6	1.8	5.0	3.0	1.2					
5.0	2.8	1.6	12.5	7.5	1.6	6.5	3.5	2.0					
6.0	3.5	1.6	15.0	9.0	2.2	7.0	4.0	2.0					
6.5	3.5	2.0	17.5	10.5	2.2	7.5	4.0	2.2					
7.0	4.0	2.0	20.0	12.0	2.4	8.0	4.5	2.2					
7.5	4.0	2.2	25.0	15.0	2.4	9.0	5.0	2.4					
8.0	4.5	2.2	30.0	15.0	2.4	10.0	5.5	2.4					
9.0	5.0	2.4	35.0	14.0	2.4								
10.0	5.5	2.4	40.0	14.0	2.4								
12.5	5.0	3.5	2.4										
13.0	5.0	4.0	2.4										
15.0	5.5	5.5	2.4										
17.5	6.0	7.0	2.4										
20.0	6.0	9.0	2.4										

※1: 千鳥打ちとした場合

5 柱脚 (5.2.1)

5-1 アンカーボルト (5.2.1)

(1)アンカーボルトは二重ナット及び座金を用い、その先端は、ねじがナットの外に3山以上出るようにする。
ただし、コンクリートに埋め込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。
(2)アンカーボルトにせん断力を負担させる場合は、座金厚さの設計を行い、座金とベースプレートとを全周溶接する。
(3)柱座出しモルタルの厚さは、特記による。
特記がなければ、標準表7.10.2のA種の場合は5.0mm、B種の場合は3.0mmとする。
(4)コンクリートの表面は、レイテンス等を取り除いたのち、目視を行う。
(5)アンカーボルト孔の径を当該アンカーボルトの径に5mmを加えた数値以下の数値とする。
(6)折曲し内法直径Dは、鉄筋D16以上の場合は3d以上とし、鉄筋D19以上の場合は4d以上とする。
(7)アンカーボルト末端フックは、鉄筋D18以上の場合は180°とし、鉄筋D13以上の場合は135°とする。
(8)φは定着長さとする。

6 鉄骨標準詳細図 (付録1.3)

6-1 柱・梁仕口部 (H形柱) (付録1.3)

6-2 柱・梁仕口部 (角形鋼管柱) (付録1.4)

6-3 柱脚 (付録1.6)

6-4 小梁の接合 (ピン接合) (付録1.12(1))

接合形式 A

6-5 小梁の接合 (剛接合) (付録1.12(1))

6-6 梁貫通孔部補強 (付録1.3)

(1)貫通孔の補強方法は、補強プレート法及び補強トラス法とし、貫通孔部分は、必要に応じて鋼管スリーブを取り付ける。

6-7 折板受材 (付録1.12(7))

7. 1. 形がい (山形鋼、平鋼) 高力ボルトF10T (鋼材S460鋼)

(単位: mm) (設計資料2-22)

サイズ	高力ボルト	ガセットプレート	必要 溶 接 長		(角)
	本数-径	厚×必要幅 g×L	TYPE ①	TYPE ②	TYPE ③
ㄠ-55×55×6	5-M11.6	9×9.0	17.0	10.1	11.7
ㄠ-75×75×6	5-M11.6	9×9.5	20.2	11.7	13.3
ㄠ-75×75×9	5-M11.6	9×12.5	29.1	16.2	17.8
ㄠ-75×75×12	5-M12.0	9×16.0	36.1	19.7	21.3
ㄠ-90×90×6	4-M12.0	9×12.0	26.7	15.0	16.6
ㄠ-90×90×10	5-M12.0	9×16.5	38.9	21.1	22.7
ㄠ-90×90×13	5-M12.0	12×11.0	39.5	21.8	23.8
ㄠ-100×100×7	4-M12.0	9×13.5	30.3	16.8	18.4
ㄠ-100×100×10	5-M12.0	9×18.5	44.3	23.8	25.4
ㄠ-100×100×13	5-M12.0	12×18.0	43.8	23.9	25.9
ㄠ-55×55×6	5×2-M11.6	9×16.0	33.9	18.6	20.2
ㄠ-75×75×6	5×2-M11.6	9×18.5	40.4	21.8	23.4
ㄠ-75×75×9	5×2-M11.6	9×25.0	58.1	30.7	32.3
ㄠ-75×75×12	5×2-M12.0	9×31.6	72.2	37.7	39.3
ㄠ-90×90×7	4×2-M12.0	9×24.0	63.3	28.3	29.9
ㄠ-90×90×10	5×2-M12.0	9×33.0	77.7	40.5	42.1
ㄠ-90×90×13	5×2-M12.0	12×32.0	78.9	41.5	43.6
ㄠ-100×100×7	4×2-M12.0	9×27.0	60.5	31.9	33.5
ㄠ-100×100×10	5×2-M12.0	9×37.0	88.5	45.9	47.5
ㄠ-100×100×13	5×2-M12.0	12×35.0	87.5	45.8	47.8
FR-55×5	2-M11.6	6×6.5	11.7	7.1	8.3
FR-75×5	2-M11.6	6×7.8	14.2	8.3	9.5
FR-55×9	2-M11.6	9×6.5	13.1	8.2	9.8
FR-75×9	2-M11.6	9×7.5	15.9	9.6	11.2
FR-90×9	3-M12.0	9×9.0	19.0	11.1	12.7
FR-100×9	3-M12.0	9×10.0	21.8	12.5	14.1
FR-90×12	3-M12.0	12×9.0	20.2	12.1	14.1
FR-100×12	4-M12.0	12×10.0	23.2	13.6	15.6
FR-90×16	4-M12.0	12×11.6	27.0	15.5	17.6
FR-100×16	5-M12.0	12×13.0	30.9	17.5	19.5

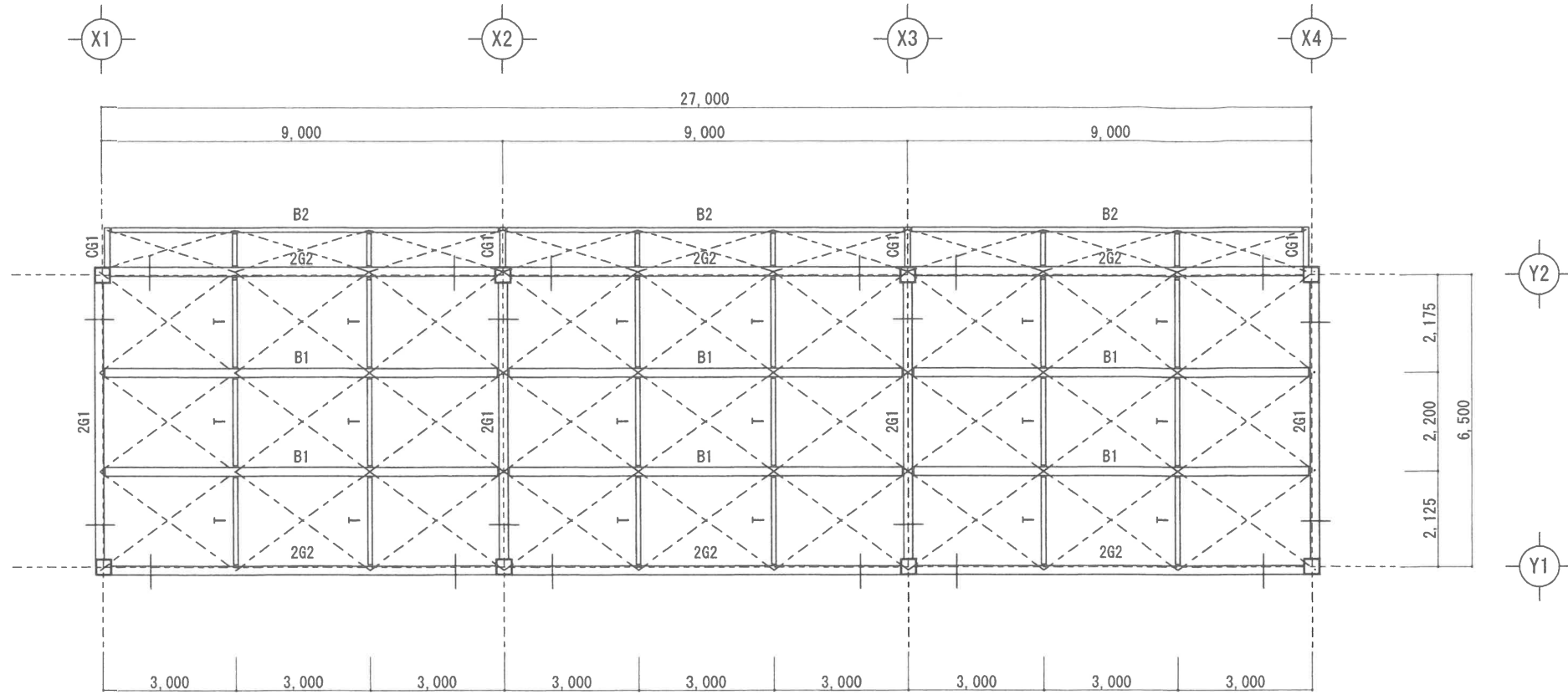
図 7-5 クリーンハックル鋼 (JIS A594 材質)

8-2 索継手の諸元一覧 (付録2.2)

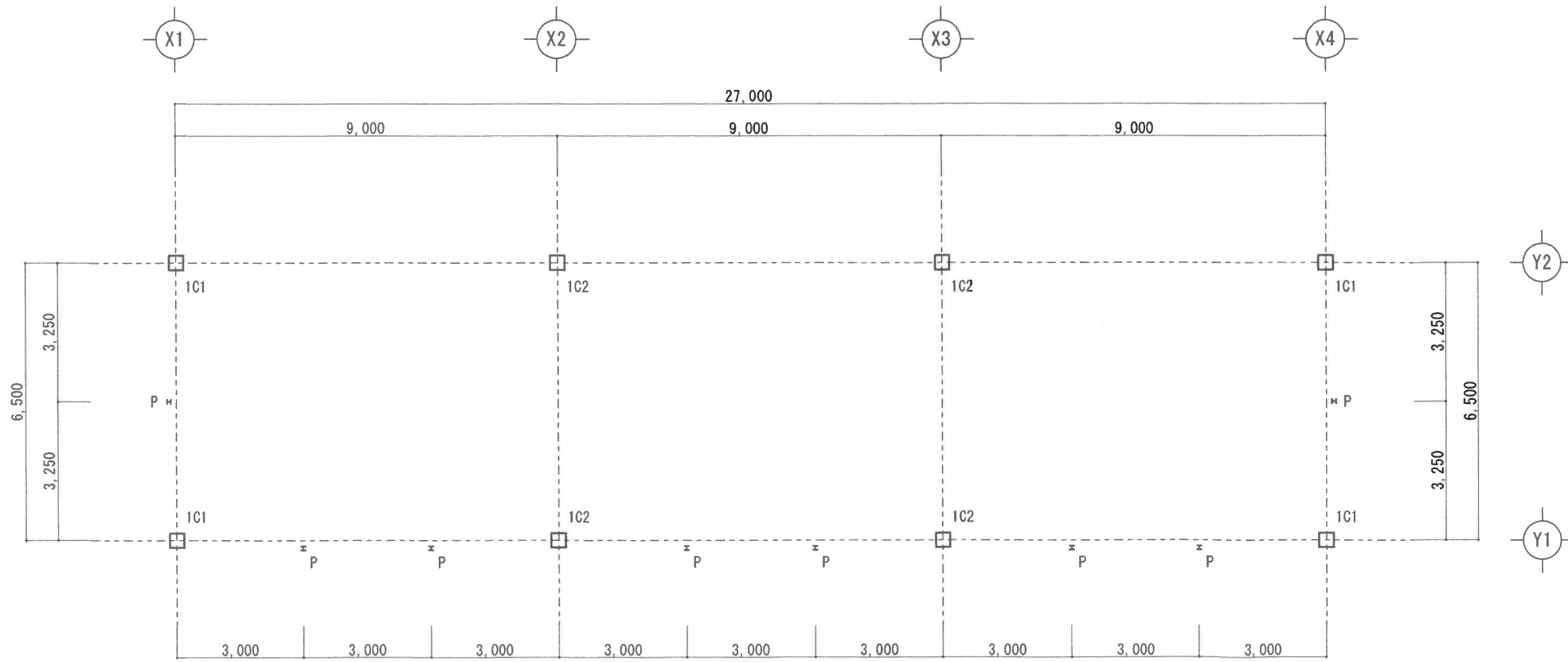
断面寸法：母材断面の寸法

径 D : フランジ及びウェブに使用する高力ボルトの呼び径

[illegible]

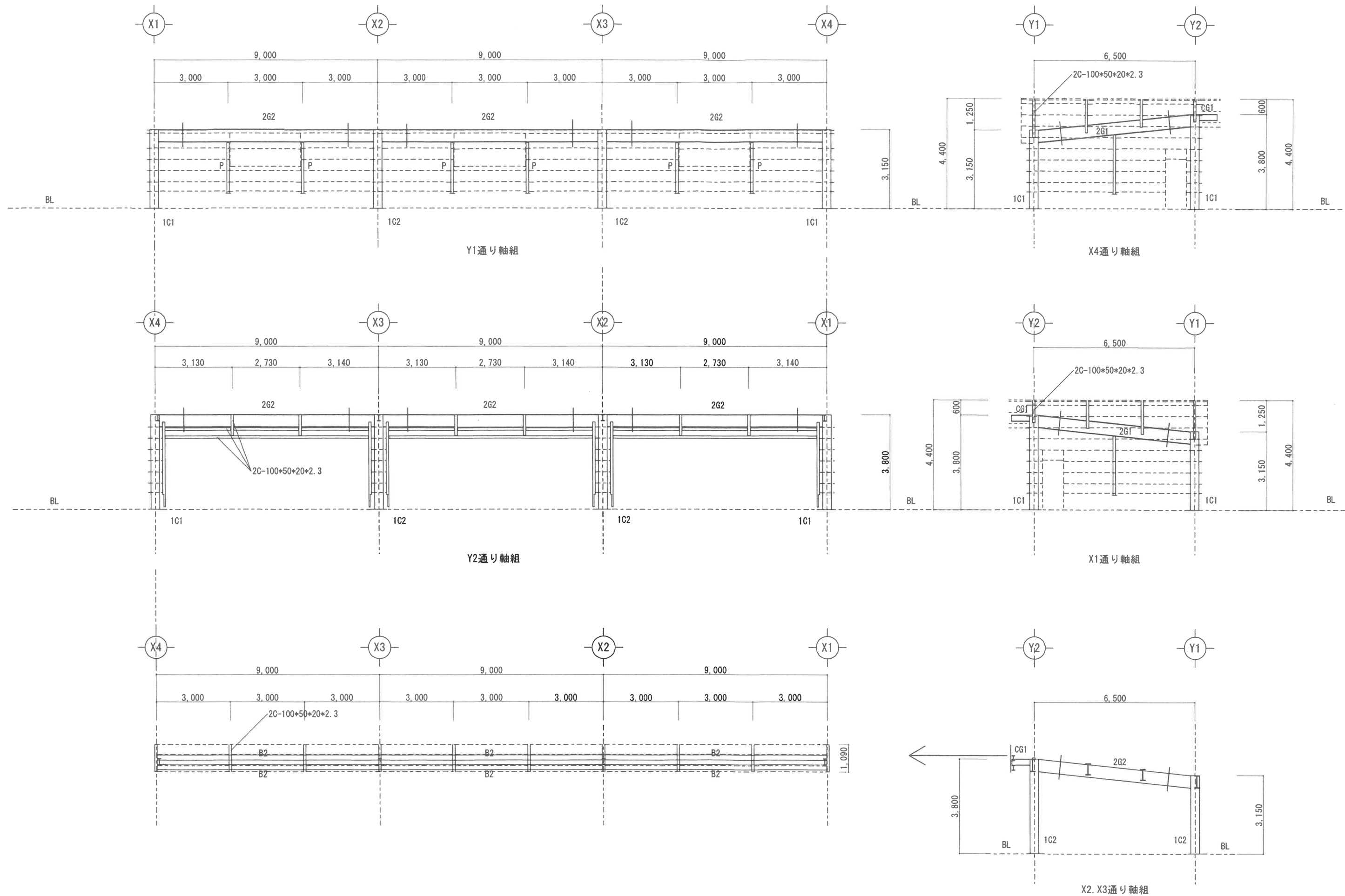


梁伏図 1/100

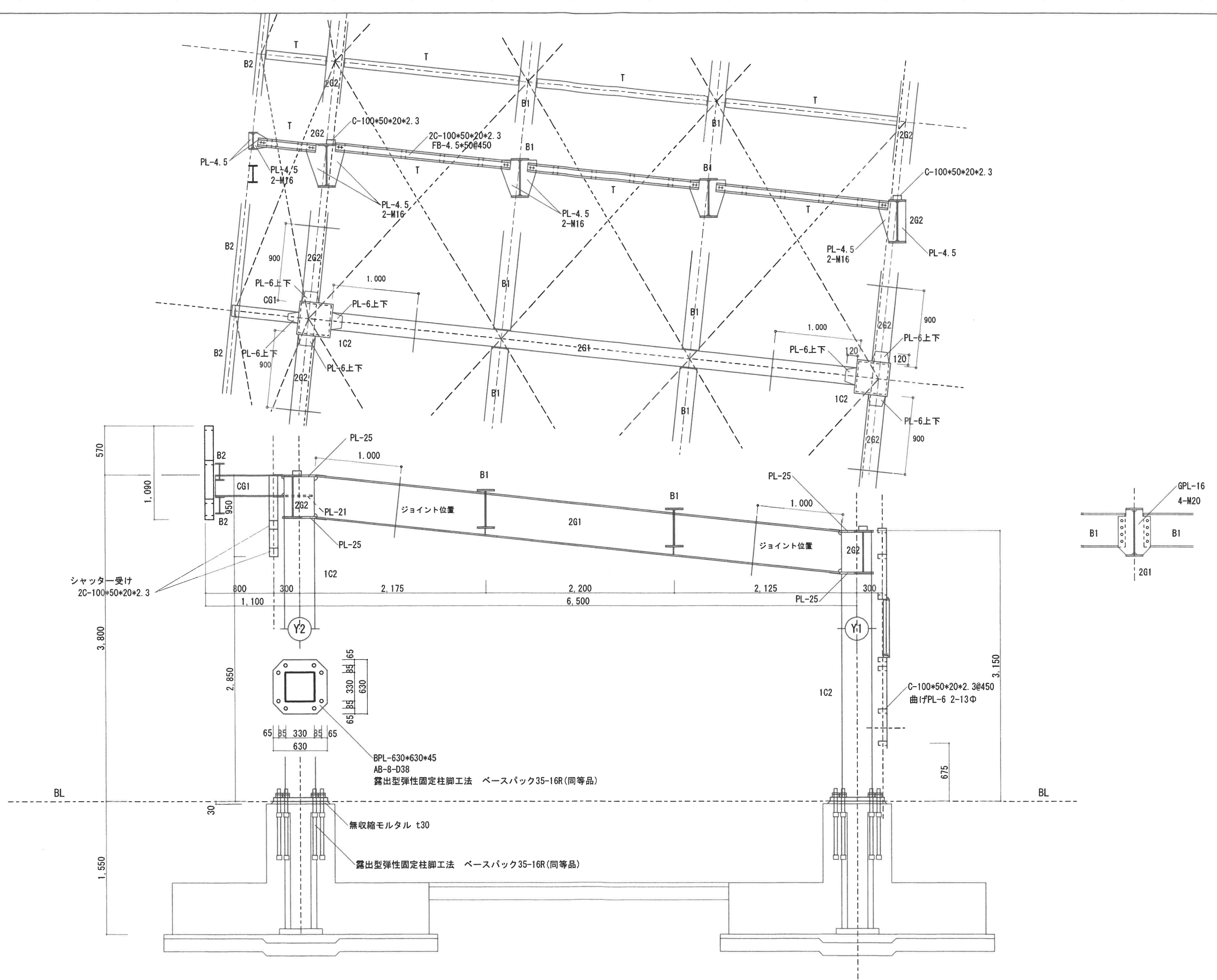


柱伏図 1/100

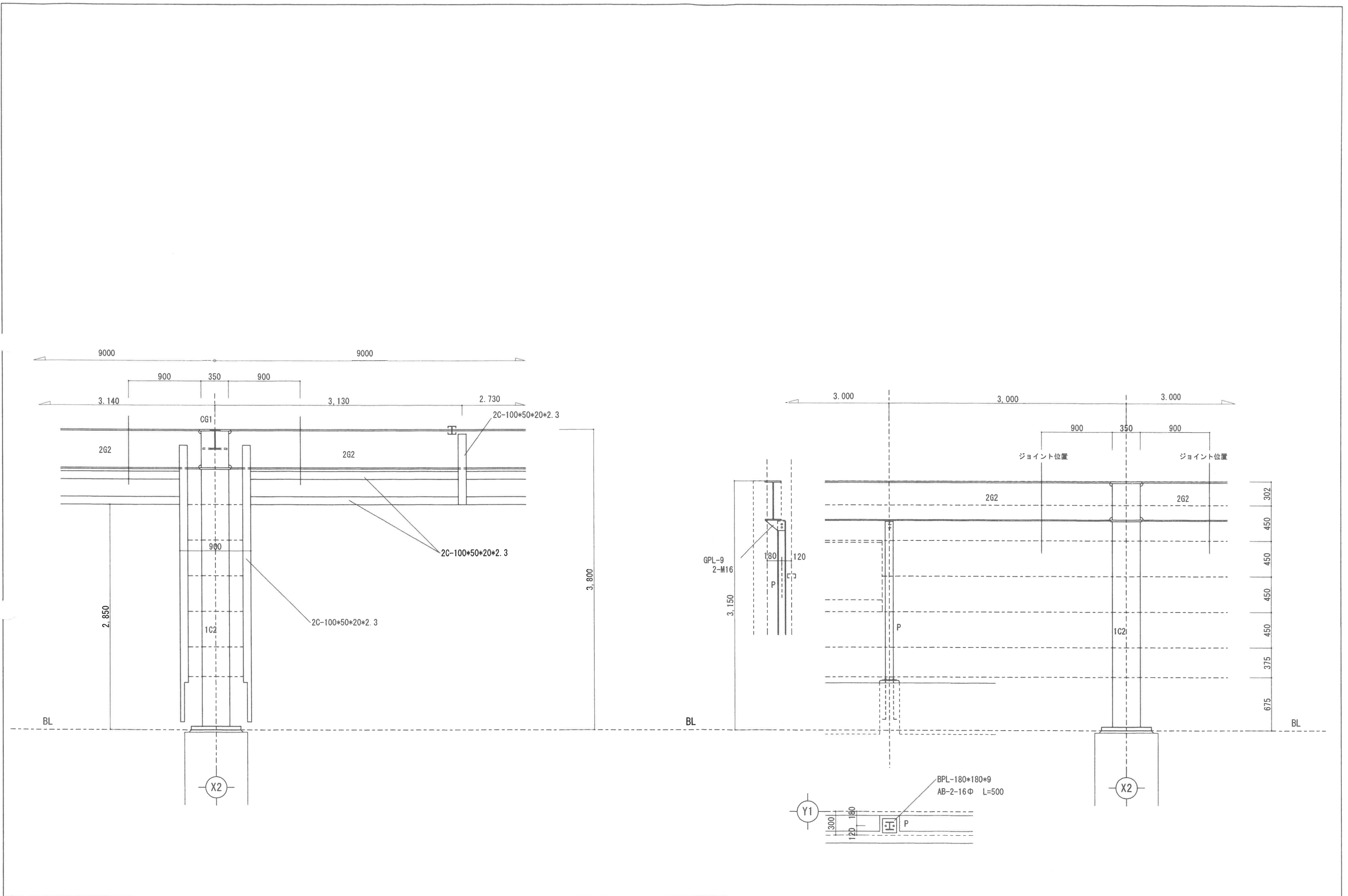
部材リスト	
1C1	□-350*350*12*24 (BCR295) 露出型弾性固定柱脚工法 ベースバック35-16R (同等品)
1C2	□-350*350*12*24 (BCR295) 露出型弾性固定柱脚工法 ベースバック35-16R (同等品)
2G1	H-500*200*10*16
2G2	H-500*200*10*16
B1	H-450*200*8*13
B2	H-200*100*5.5*8
CG1	H-250*125*6*9
P	H-100*100*6*8
T	2C-100*50*20*2.3
ブレース	M16 ハイ'式
胴縁	C-100*50*20*2.3 @450 曲げPL-6 2-13Φ



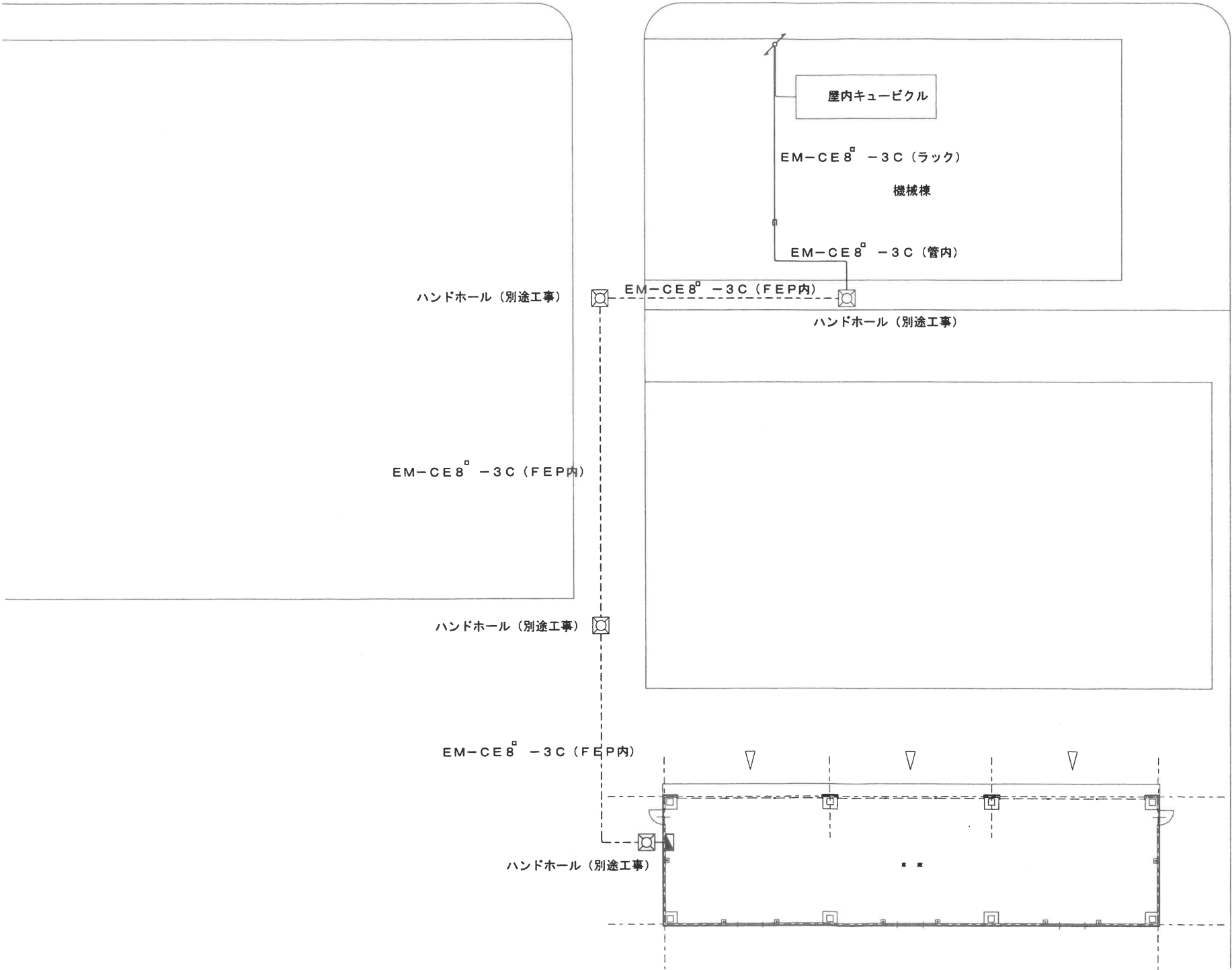
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田2 1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士 一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
							H25・11	軸組図	1/100	19/27



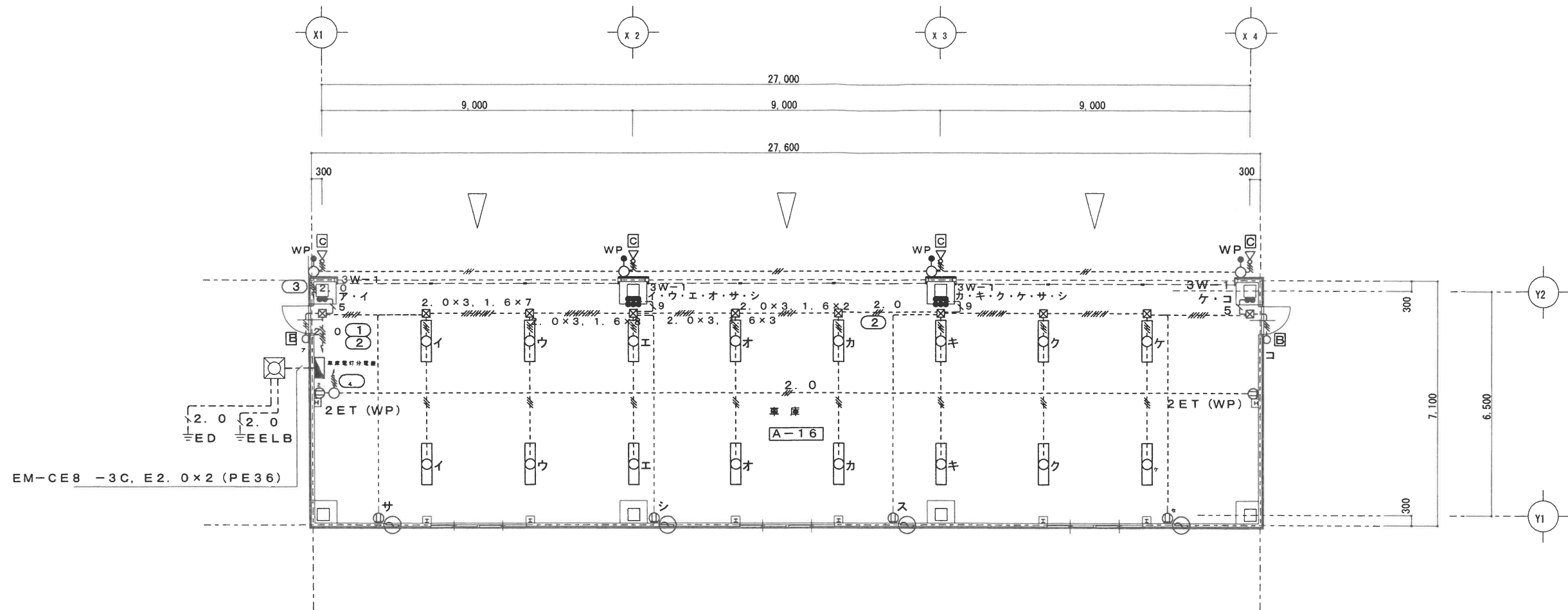
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(え)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
				一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	鉄骨詳細図 NO 1	1/30	20/27



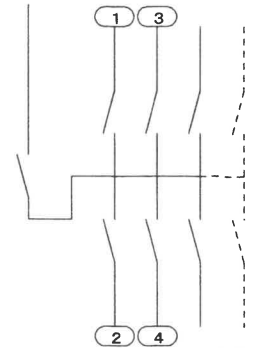
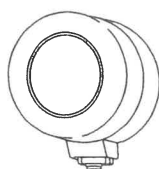
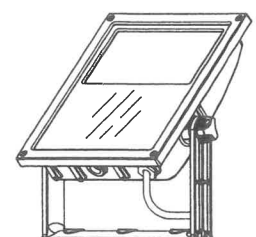
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(元)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田2-1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477		管理建築士	検印	作図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号
					一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一			H25・11	鉄骨詳細図 N02	1/30	21/27



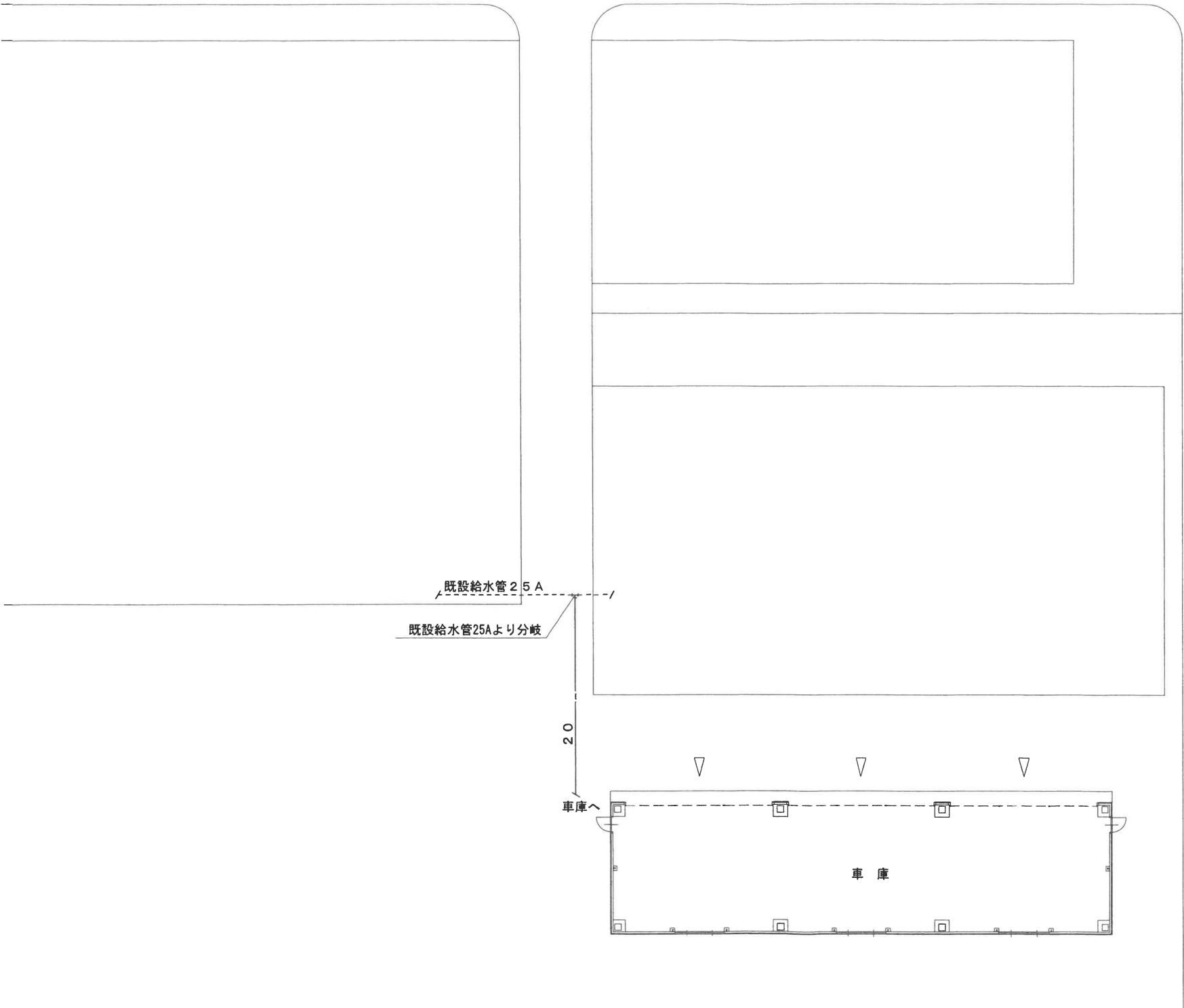
工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設 計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(お)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3  ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477		管理建築士	検 印	作 図	設計年月	図面内容	縮 尺	図面番号
			一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高 橋 祐 一			H25・11	構内配電線路設備 配置図	1/200	23 / 27		



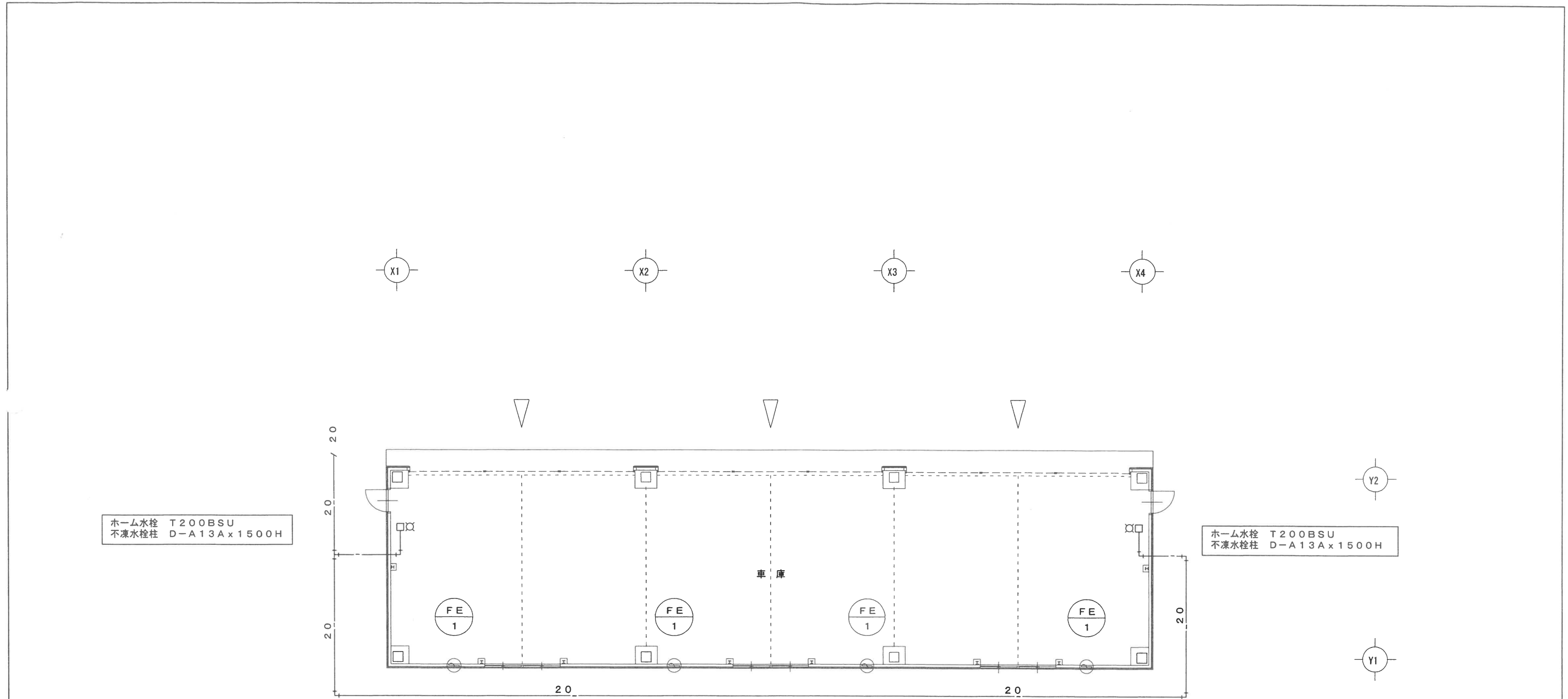
特記事項	
1. 記入なき配線は下記による	
-----	EM-IE1. 6×2 (E19)
-----	EM-IE1. 6×3 (E19)
-----	EM-IE1. 6×4 (E19)
-----	EM-IE1. 6×5 (E25)
-----	EM-IE1. 6×6 (E25)
-----	EM-IE1. 6×7 (E25)
-----	EM-IE1. 6×9 (E31)
-----	EM-IE2. 0×3 (E19)
-----	EM-IE2. 0×6 (E25)
2. 0×3, 1. 6×2	EM-IE2. 0×3, 1. 6×2 (E25)
2. 0×3, 1. 6×3	EM-IE2. 0×3, 1. 6×3 (E25)
2. 0×3, 1. 6×7	EM-IE2. 0×3, 1. 6×7 (E31)
2. 0×3, 1. 6×8	EM-IE2. 0×3, 1. 6×8 (E31)
2. ブルボックスは、200×200×100とする	

直付型 蛍光灯		壁付型 LED灯 (屋外防水・センサー付)		壁付型 LED灯 (屋外防水)		車庫用電灯分電盤	
A	FHF32-2	B	LED6. 9W	C	LED78W	1φ3W200/100V	
FSR2-322 PH		東芝: LEDB85905Y 相当品		東芝: LEDS-08903WW-LJ9 相当品			
						住宅用分電盤 (鉄箱) M). ELB3P30A B). MCB2P20A-6 B). スペース-2	

1	配管材料	イ) 屋内外水管 ・ 排水用塩化ビニル管 ・ ゼニル管 (V P) ロ) 屋内外給水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ビニール管 (下地用等) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ニ) 通気管、空調用給水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 取付はない	・ コーティング鋼管 ・ メカニカル樹脂排水鋼管 ・ 鋼 管 ・ ゼニル管 (V P) ・ 排水用塩化ビニル管 ・ ゼニル管 (V U) ・ コーティング鋼管 ・ ゼニル管 (V P) ・ 標準とした場所に取り付ける
2	漏水試験手	・ 排水は、 ・ 立管は本工事	
3	排水流し	排水管は、衛生器具などの取付け完了後、試験又は漏水試験を ※ 行う ・ 行わない	
4	試 験	・ 不密 ・ 漏れ、 ・ 漏水工事、 ・ 本工事	
5	取調金具		
1	配管材料	・ 排水用塩化ビニル管 ・ 鋼 管 ・ 炭素鋼管 ・ 鋼管は給水管 ・ 給水管の接続等項による。	
2	弁 類	給水管に接続する給水管、給水管は鋼管又はステンレス製のフレキシブルチューブを 使用してよい。	
3	通気管及び 配 管	※ 本工事 (管径φ 50mm以上のステンレス鋼管) ・ 別途	
4	通気管の 管径	・ 別途	
5	保 護	通気管給水管の保護は ※ 行う ・ 行わない	
1	配管材料	イ) 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (S C H 4 0) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (縦目継ぎ) (S C H 8 0) ロ) 地中埋設管 ・ 内装用炭素鋼管 (S C H 4 0 - V B) ・ 内装用炭素鋼管 (S G P - P B) ・ J I S 1 0 k g / c m 2 ・ J I S 2 0 k g / c m 2 屋外露出部分については給水管に準ずる。 k g / c m 2 以下	
2	漏水検出機	・ 本工事 ・ 別途工事	
3	保 護	器具付属の保護管、保護管等項とする。	
4	2号用火栓 の取付金具		
1	配管材料	イ) 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリエチレン樹脂管 ロ) 地中埋設管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ポリエチレン樹脂管 イ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ロ) 引込み金具 ・ 不密 ・ 漏れ、 ・ 漏水工事、 ・ 本工事	
2	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
3	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
4	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
5	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
6	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
7	ガス供給ガス	イ) ガスポンプは ・ 買取り 〔 1 0 k g 2 0 k g 5 0 k g 1 本〕 ロ) ガスメーター ・ ガスメーターはガス供給事業者より提供 メーターは標準とする。 ハ) 配管防止用管は ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 配管防止管は ・ 本工事 ・ 施工要領は標準 (1 5 7 3) による。 ・ 取付ける (1 分断部、1 体部) 外観出力端子 (あり) ・ なし	
1	電気配線	標準による。	
2	電気配線	標準による。	
3	電気配線	標準による。	
4	電気配線	標準による。	
5	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
6	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
7	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
8	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
9	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
10	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
11	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
12	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
13	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
14	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
15	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
16	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
17	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
18	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
19	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
20	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
21	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
22	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
23	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
24	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
25	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
26	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
27	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
28	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
29	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
30	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
31	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
32	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
33	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。	
34	電気配線	・ 標準による。 ・ 標準による。 ・ 標準による。 ・	



工事名称	新病院公用車車庫新築工事	設計	一級建築士事務所 岩手県知事登録 第(お)644号 岩手県和賀郡西和賀町湯田 2 1-4 7-3 ユウ建築事務所 TEL 0197-84-2453 FAX 0197-84-2477	管理建築士 一級建築士 建設大臣登録 第148275号 高橋 祐一	検印	作図 	設計年月 H25・11	図面内容 機械設備 配置図	縮尺 1/200	図面番号 26 / 27
------	--------------	----	--	---	----	---	----------------	------------------	-------------	-----------------



機 器 表

記 号	品 名	仕 様	#
FE-1	有圧換気扇	排気用 鋼板製 低騒音形 30cm 換気量1740m3/H 消費電力100V-55W 電気式シャッター（鋼板製） ウェザーカバー	4